

業績目録

松田 裕貴

(岡山大学 学術研究院 環境生命自然科学学域)

2025年12月26日現在

■ 教育実績

□ 講義実績

- E-1. AI・IoT統合システム開発実践
岡山大学 博士前期課程講義(2025～現在)
- E-2. 工学基礎実験実習
岡山大学 学士課程講義 (2024～現在)
- E-3. システムプログラミング1・2
岡山大学 学士課程講義 (2024～現在)
- E-4. 実践プログラミング
岡山大学 学士課程講義 (2024～現在)
- E-5. ユビキタスシステム特論
岡山大学 博士前期課程講義 (2024～現在)
- E-6. ユーザ参加型センシング
青山学院大学 博士前期課程オムニバス講義 (2022年)
- E-7. 情報科学特別講義 A・C
奈良先端科学技術大学院大学 博士前期課程講義 (2020年)
- E-8. ユビキタスシステム
奈良先端科学技術大学院大学 博士前期課程講義 (2019年～現在)
- E-9. GEIOT プロトタイピング基礎 B
奈良先端科学技術大学院大学 博士前期課程講義 (2019年～2023年)
- E-10. 情報理工学 PBL I
奈良先端科学技術大学院大学 博士前期課程講義 (2019年～2023年)

□ 学生指導実績

- S-1. 博士後期課程学生11名(内7名は留学生)の副指導教員・博士論文審査員 (2019年度～現在)
- S-2. 博士前期課程学生35名(内2名は留学生)の副指導教員・修士論文審査員 (2019年度～現在)
- S-3. 学士課程学生3名の指導教員・学士論文審査員(2024年度～現在)

■ 外部資金獲得状況

□ 研究代表者

- G-1. 日本学術振興会 科研費 若手研究
エッジAIの継続的な知識獲得のためのユーザ参加型アノテーション(24K20763)
2024年4月～2026年3月

- G-2. 一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター(SCAT) 研究費助成
人の心理状態・態度を考慮するAIミュージアムエデュケータの開発
2024年4月～2027年3月
- G-3. 科学技術振興機構 戰略的創造研究推進事業 さきがけ
「IoTが拓く未来」研究領域(研究総括: 徳田英幸)
人の知覚を用いた参加型 IoT センサ調整基盤の創出(JPMJPR2039)
2020年11月～2024年3月
- G-4. KDDI財団 調査研究助成
珠算行動の認識による学習者支援システム
2021年4月～2024年3月
- G-5. 日本学術振興会 科研費 研究活動スタート支援
観光客属性差および環境ノイズにロバストなマルチモーダル心理状態推定システムの構築
(19K24345)
2019年10月～2021年3月
- G-6. 大阪大学 Society 5.0 実現化研究拠点支援事業 グランドチャレンジ研究プロジェクト
歯ブラシ型 IoT による口臭センシングに基づく口腔環境ケア支援基盤
2019年10月～2021年3月
- G-7. 日本学術振興会 若手研究者海外挑戦プログラム
ユーザ参加型センシングとマルチモーダル対話を介した感情推定による観光満足影響度推定
2017年10月～2018年9月
- G-8. 日本学術振興会 特別研究員 DC1 (特別研究員奨励費)
モバイル端末を用いた街灯照度センシングによる夜間道の安全性判定とその実用化(16J09670)
2016年4月～2019年3月

□ 研究分担者

- G-9. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(C)
デジタル・ディストラクションの即時検知とアテンション制御に関する研究(24K15227)
代表: 中村優吾(九州大学)
2024年4月～2027年3月
- G-10. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(B)
文章中の人物の移動軌跡を実世界の地図上に接地するための基礎研究とその応用(22H03648)
代表: 大内啓樹(奈良先端科学技術大学院大学)
2022年4月～2025年3月
- G-11. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(B)
マルチモーダルセンシングとモバイルフェデレーション学習による場所コンテキスト収集(21H03431)
代表: 安本慶一(奈良先端科学技術大学院大学)
2021年4月～2024年3月
- G-12. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(B)
介護職員の業務負担軽減に向けた時空間行動認識に基づく次世代介護プランニング基盤
(20H04177)
代表: 藤本まなと(大阪公立大学)
2020年4月～2024年3月
- G-13. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(A)
インターネット壊滅時でも持続可能な災害情報流通支援システムの構築 Phase2(19H01139)
代表: 諏訪博彦(奈良先端科学技術大学院大学)
2019年4月～2023年3月

G-14. 日本学術振興会 科研費 基盤研究(A)

リアルタイムコンテンツキュレーションのための参加型センシング基盤(16H01721)

代表: 安本慶一(奈良先端科学技術大学院大学)

2016年4月～2020年3月

□ 共同研究(研究代表者)

G-15. 株式会社カワカミ, 機器トラブルの電話サポート支援システムに関する共同研究 (2025年～現在)

G-16. YuMake 株式会社, 参加型センシングによる体感温度推定に関する共同研究 (2023年～現在)

G-17. 日本たばこ産業株式会社, ポイ捨てゴミセンシング技術に関する共同研究 (2022年～現在)

G-18. ソフトバンク株式会社, 公共空間の混雑度推定技術に関する共同研究 (2022年～現在)

G-19. 讀賣テレビ放送株式会社, テレビ視聴ログデータの分析に関する共同研究 (2021年～現在)

■ 学会および社会における活動等

□ 学会活動(所属学会)

A-1. AIoT 行動変容学会(2024年～現在)

A-2. 情報処理学会 (2013年～現在)

A-3. 日本建築学会 (2019年～現在)

A-4. 電子情報通信学会 (2022年～現在)

A-5. 人工知能学会 (2023年～現在)

A-6. IEEE (2020年～現在)

A-7. ACM (2022年～現在)

□ 学会活動(運営委員)

A-8. 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会, 運営委員 (2025年～現在)

A-9. AIoT 行動変容学会, 運営委員(2024年～現在)

A-10. 情報処理学会 IoT 行動変容学研究グループ, 運営委員 (2022年～2023年)

A-11. 電子情報通信学会 センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究専門委員会, 幹事 (2024年～現在)

A-12. 電子情報通信学会 センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究専門委員会, 幹事補佐 (2022年～2024年)

A-13. 情報処理学会 ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 運営委員 (2021年～2025年)

A-14. 情報処理学会 関西支部研究会 行動変容と社会システム研究会, 幹事 (2019年～2024年)

□ 学会活動(イベント)

A-15. 第33回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '25), 組織委員長 (2025年)

A-16. The 15th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking(ICMU '25), Web Chair (2025年)

A-17. The 15th International Workshop on Spoken Dialogue Systems Technology(IWSDS '25), Program

Committee Co-chair (2025 年)

- A-18. Augmented Humans International Conference (AHs '25), Publication Co-chair (2025 年)
- A-19. IPSJ-ONE 2025, 企画・実施委員長 (2025 年)
- A-20. 第 32 回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '24), 組織委員 (2024 年)
- A-21. マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム (DICOMO '24), 実行委員 (2024 年)
- A-22. The 22nd ACM International Conference on Mobile Systems, Applications, and Services (MobiSys '24), Demo Chair (2024 年)
- A-23. International Conference on Smart Computing 2024 (SmartComp '24), Poster Chair (2024 年)
- A-24. IPSJ-ONE 2024, 企画・実施副委員長 (2024 年)
- A-25. 社会システムと情報技術研究ワーク (WSSIT '24), 実行委員 (2024 年)
- A-26. The 13th International Conference on the Internet of Things (IoT '23), Poster-Demo Chair (2023 年)
- A-27. マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム (DICOMO '23), 実行委員 (2023 年)
- A-28. 社会システムと情報技術研究ワーク (WSSIT '23), 実行委員 (2023 年)
- A-29. 第 30 回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '22), 組織委員 (2022 年)
- A-30. マルチメディア、分散、協調とモバイルシンポジウム (DICOMO '22), 実行委員 (2022 年)
- A-31. 社会システムと情報技術研究ワーク (WSSIT '22), 実行委員 (2022 年)
- A-32. 社会システムと情報技術研究ワーク (RST '21), 実行委員 (2021 年)
- A-33. 第 28 回 マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '20), 組織委員 (2020 年)
- A-34. The 1st International Workshop on Pervasive Computing and Spoken Dialogue Systems Technology (PerDial '19), Organizer (2019 年)
- A-35. The 11th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU '18), Web Chair (2018 年)

□ 地域貢献活動

- A-36. 北海道松前町, 市民参加型写真収集システムを提供しオープンデータの作成に貢献 (2023 年)
- A-37. 奈良県生駒市, 生駒駅南口エリアプラットフォーム構成員 (2023 年～現在)
- A-38. 奈良県生駒市, いこま SDGs アクションネットワークアドバイザー (2022 年～現在)
- A-39. 奈良県生駒市, 生駒市立生駒南第二小学校における全校縦割りアクティブラーニング授業システム「にしょロボくん」の提供 (2021 年～現在)
- A-40. 日本全国, 写真収集システムを提供し日本各地 22 地域(北海道～沖縄)での全国一斉写真撮影イベントの開催、および、オープンデータの作成に貢献 (2020 年)
- A-41. 奈良県生駒市, 市民参加型写真収集システムを提供しオープンデータの作成に貢献 (2020 年)
- A-42. 奈良県生駒市, 生駒市立中学校における出前講義 (2019 年～現在)

□ 主要な受賞 (全 27 件のうち抜粋) (※研究業績と対応する受賞歴は研究業績の項を参照ください)

- A-43. ヒーローズ・リーグ 2024 「特別賞」
AbaCaaS: 算盤の盤面認識に基づく珠算学習支援システム
2024 年 12 月 7 日
- A-44. アーバンデータチャレンジ 2023 「銅賞」
桜咲プロジェクト in 奈良

2024 年 3 月 9 日

- A-45. 異能 vation 2023 年度異能ジェネレーションアワード「食に関する分野賞」
食べて、塗って、健やかに「eat2pic」
2024 年 3 月 2 日
- A-46. GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD 「Honorable Mention Award」
Tongar: IoT トングでごみ拾いすることでポイ捨て問題の解決へ
2023 年 11 月 18 日
- A-47. 文部科学省・経済産業省共同による第 11 回キャリア教育推進連携表彰「優秀賞」
生駒市立生駒南第二小学校全校児童がつくる地域の魅力発信アプリ「にしょロボくん」プロジェクト,
2022 年 12 月 16 日
- A-48. 第 5 回日本 ICT 教育アワード「経済産業大臣賞」
教員からのボトムアップで推進する生駒市のやわらかい ICT 教育改革, 2022 年 11 月 17 日
- A-49. イクハク・育児助成金白書「2021 年度奈良県ベスト育児制度賞」
子どもたち目線で作った「日本で一番ニッチ」な地域の魅力発信アプリ, 2022 年 9 月 22 日
- A-50. 「電波の日・情報通信月間」記念中央式典「オープンデータアプリ総務大臣奨励賞」
NGY Night Street Advisor ~ 明るい夜道を案内する安心・安全な歩行者ナビゲーションシステム,
2014 年 6 月 2 日
- A-51. オープンデータ流通推進コンソーシアム・総務省主催 オープンデータ・アプリコンテスト「優秀賞」
フォトロケハンター!!, 2014 年 3 月 12 日
- A-52. 経済産業省・総務省主催 オープンデータ ユースケースコンテスト「最優秀賞」
NGY Night Street Advisor ~ 明るい夜道を案内する安心・安全な歩行者ナビゲーションシステム,
2014 年 2 月 7 日

□ 報道

- A-53. ポイ捨てゴミセンシングシステム(Tongar)プロジェクトに関する報道等 [17 件]
NHK 総合(2022/12), 毎日新聞(2022/11), 産経新聞(2022/10), 読売新聞(2022/08), 奈良新聞
(2022/08), 日経新聞(2022/07), 産経新聞(2022/06), 読売新聞(2022/06), 奈良テレビ
(2022/05), テレビ大阪(2022/05), 読売新聞(2022/04), 奈良テレビ(2022/03), 奈良新聞(2022/03),
朝日新聞(2022/03), 日経新聞(2022/02), 毎日放送(2022/01), NHK 奈良(2020/09)
- A-54. 箸型 IoT による食事行動変容システム(eat2pic)プロジェクトに関する報道等 [2 件]
ITmedia NEWS(2021/03), NHK 奈良(2021/02)
- A-55. 給食献立オープンデータ(4919)プロジェクトに関する報道等 [4 件]
政府 CIO ポータル(2018/02), 朝日新聞デジタル(2017/12), 日経 BP(2017/11), 生駒市広報
(2017/11)
- A-56. ベルト型ウェアラブルデバイス(WaistonBelt)プロジェクトに関する報道等 [12 件]
週刊プレイボーイ(2017/03), 日刊工業新聞(2017/02), NHK 総合(2017/01), 日刊工業新聞
(2016/08), NHK 奈良(2016/02), 週刊ダイヤモンド(2015/09), 日経 xTECH(2015/09), RBB
Today(2015/08), Japan Times(2015/08), The Bridge(2015/06), @IT(2014/12)
- A-57. ユーザ参加型街灯照度収集システム(NightRoadScanner)プロジェクトに関する報道等 [6 件]
政府 CIO ポータル(2016/10), 日経 BP(2015/10), 静岡新聞(2015/10), 神戸新聞(2015/05), 神
戸新聞(2014/06), 神戸新聞(2014/02)

■ 研究業績

□ 論文誌・ジャーナル

- J-1. Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Kotaro Hayashi, Taito Yoshimura, Arata Yoshihara, Ismail Arai: “Estimating People Flow and Crowdedness for Various Urban Environments based on BLE Signal Sensing: Practical Studies,” IEICE Transactions on Communications, p.1–11, 2025. (Early Access)
- J-2. Kotaro Hayashi, Taito Yoshimura, Hiroyuki Kobayashi, Ryo Imamura, Mina Itou, Kiyohide Ushijima, Hirohiko Suwa, Yuki Matsuda: “People Flow Estimation in Urban Environments Using BLE Advertising Packets,” International Journal of Activity and Behavior Computing, Vol.x, No.x, pp.x–x, 2026. (accepted)
- J-3. Mario Carreon, Ko Watanabe, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Shoya Ishimaru, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Using Face, Gaze, and Code Features Detected with Off-the-Shelf Equipment to Derive Student Emotion in an Introduction to Programming Context,” Research and Practice in Technology Enhanced Learning, p.x–x, 2025. (accepted)
- J-4. Daiki Mayumi, Hiroki Matsuda, Tetsuya Yokota, Taichi Sakakibara, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Clustering TV Viewing Behavior for Digital Twin Construction Using Television Viewing History Data,” IEEE Access, Vol.13, pp.192795–192806, 2025. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-5. Ko Watanabe, Gitesh Gund, Jayasankar Santhosh, Haruka Sakagami, Yuki Matsuda, Andreas Dengel: “EyeUnderstand: Dashboard for Gaze and Deep-Learning Driven Comprehension Estimation in Online Lectures,” IEEE Access, Vol.13, pp.102220–102233, 2025. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-6. Lucas Maris, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Image Differential Privacy and K-anonymity for Pedestrian Image Data: Impact on Cross-camera Person Re-identification & Demographic Predictions,” ACM Transactions on Cyber-Physical Systems (TCPS), 2025. (Early Access) **《Impact Factor (2024) = 2.9》**
- J-7. Ko Watanabe, Yuki Matsuda, Yugo Nakamura, Yutaka Arakawa, Shoya Ishimaru: “TrackThinkDashboard: Understanding Student Self-Regulated Learning in Programming Study,” International Journal of Activity and Behavior Computing, Vol.2025, No.1, pp.1–17, 2025.
- J-8. Takumi Ikenaga, Yuki Matsuda, Ippei Goto, Kentaro Ueda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Using BLE Signals to Estimate Objective and Subjective Crowdedness Levels on Fixed-route Buses,” IEEE Access, Vol.13, pp.67488–67499, 2025. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-9. Sergio De León Aguilar, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Mobile Augmented Reality Interface for Instruction-based Disaster Preparedness Guidelines,” Sensors and Materials, Vol.36, No.10, pp.4585–4606, 2024. **《Impact Factor (2023) = 1.2》**
- J-10. Daisuke Nose, Yuta Ibayashi, Tadaaki Arimura, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Takuya Otsuka, Keiichi Yasumoto, Masahiro Sugimoto, Shin-Ichiro Miura: “Standardization of Transthoracic Impedance Values for Estimating Heart Failure and its Utility,” European Heart Journal, Vol.45, No.Supplement_1, p.ehae666.3453, 2024.
- J-11. 松田裕貴, 櫻原太一, 真弓大輝, 松田裕貴, 水本旭洋, 安本慶一: “非特定テレビ視聴履歴データの放送局間統合手法,” 情報処理学会論文誌, Vol.65, No.10, pp.1488–1500, 2024.
- J-12. Annalena Aicher, Yuki Matsuda, Keichii Yasumoto, Wolfgang Minker, Elisabeth André, Stefan Ultes: “Enhancing Reflective and Conversational User Engagement in Argumentative Dialogues with Virtual Agents,” Multimodal Technologies and Interaction, Vol.8, No.8:71, pp.1–44, 2024.
- J-13. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Shinya Misaki, Keiichi Yasumoto: “Aromug: a Mug-type Olfactory Interface to Enhance the Sweetness Perception of Beverages,” IEEE Access, Vol.12, pp.78366–78378, 2024. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-14. Yuki Matsuda: “Abacus Manipulation Understanding by Behavior Sensing Utilizing Document Camera

as a Sensor,” International Journal of Activity and Behavior Computing, Vol.2024, No.1, pp.1–16, 2024.

- J-15. Jiaxuan Zhang, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Movement Recognition via Channel–Activation–Wise sEMG Attention,” Methods, Vol.218, pp.39–47, 2023. **《Impact Factor (2024) = 4.3》**
- J-16. Daisuke Nose, Tomokazu Matsui, Takuya Otsuka, Yuki Matsuda, Tadaaki Arimura, Keiichi Yasumoto, Masahiro Sugimoto, Shin-Ichiro Miura: “Development of Machine Learning–Based Web System for Estimating Pleural Effusion Using Multi–Frequency Bioelectrical Impedance Analyses,” Journal of Cardiovascular Development and Disease, Vol.10, No.7:291, pp.1–14, 2023. **《Impact Factor (2024) = 2.3》**
- J-17. Koki Tachibana, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “ACOGARE: Acoustic–Based Litter Garbage Recognition Utilizing Smartwatch,” Sustainability, Vol.15, No.13:10079, pp.1–17, 2023. **《Impact Factor (2024) = 3.3》**
- J-18. 松田裕貴, 尾崎えり子, 日高興人, 吉田友子, 小野博之, 仲林政子, 西浦弘望, 久保進也, 城野聖一: “にしょロボくん: 地域の魅力発信アプリの共創を題材とする GIGA スクール端末を用いた全校縦割り活動の実践,” 情報処理学会論文誌デジタルプラクティス(TDP), Vol.4, No.2, pp.55–66 2023.
- J-19. Yugo Nakamura, Rei Nakaoka, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “eat2pic: An Eating–Painting Interactive System to Nudge Users into Making Healthier Diet Choices,” Proceedings of the ACM on Interactive, Mobile, Wearable and Ubiquitous Technologies (IMWUT), Vol.7, No.1, pp.1–23, 2023.
- J-20. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “差分画像と Grad–CAM を利用した大規模天井の損傷領域の特定方法に関する研究,” 日本建築学会技術報告集, Vol.29, No.71, pp.132–137, 2023.
- J-21. Eunice Likotiko, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Garbage Content Estimation Using Internet of Things and Machine Learning,” IEEE Access, Vol.11, pp.13000–13012, 2023. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-22. 松田裕貴, 楠原太一, 松田裕貴, 水本旭洋, 安本慶一: “放送局を横断する大規模テレビ視聴履歴データの統合手法の提案と実践,” 情報処理学会論文誌デジタルプラクティス(TDP), Vol.4, No.1, pp.34–44, 2023.
- J-23. Research Dawadi, Teruhiro Mizumoto, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “PATROL: Participatory Activity Tracking and Risk Assessment for Anonymous Elderly Monitoring,” Sensors, Vol.22, No.18:6965, pp.1–28, 2022. **《Impact Factor (2024) = 3.5》**
- J-24. Yuki Matsuda, Shogo Kawanaka, Hirohiko Suwa, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “ParmoSense: Scenario–based Participatory Mobile Urban Sensing Platform with User Motivation Engine,” Sensors and Materials, Vol.34, No.8, pp.3063–3091, 2022. **《Impact Factor (2023) = 1.2》**
- J-25. Kazuki Oi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Keiichi Yasumoto: “Inertial Measurement Unit–sensor–based Short Stick Exercise Tracking to Improve Health of Elderly People,” Sensors and Materials, Vol.34, No.8, pp.2911–2928, 2022. **《Impact Factor (2023) = 1.2》**
- J-26. 後上正樹, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オンラインアンケートにおける不適切回答自動検出に向けた回答操作ログの統計分析,” 日本データベース学会和文論文誌, Vol.20–J, Article No.9, pp.1–7, 2022.
- J-27. Yuji Kanamitsu, Eigo Taya, Koki Tachibana, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Estimating Congestion in a Fixed–Route Bus by Using BLE Signals,” Sensors, Vol.22, No.3:881, pp.1–15, 2022. **《Impact Factor (2024) = 3.5》**
- J-28. 日高真人, 松田裕貴, 諏訪博彦, 多屋優人, 安本慶一: “観光客のパーソナリティと行動との関係性分析:一泊二日の京都旅行を想定したアンケート調査による検証,” 社会情報学, Vol.10, No.2, pp.23–36, 2021.

- J-29. Tomohide Yoshie, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Haruki Otsubo, Takashi Araga, Kentaro Tatsuno, Satoshi Takaishi, Noriko Usuki, Toshihiro Ueda: “The Influence of Experience on Gazing Patterns during Endovascular Treatment: Eye–Tracking Study,” Journal of Neuroendovascular Therapy, advpub, pp.1–7, 2021.
- J-30. Ko Watanabe, Yusuke Soneda, Yuki Matsuda, Yugo Nakamura, Yutaka Arakawa, Andreas Dengel, Shoya Ishimaru: “DisCaaS: Micro Behavior Analysis on Discussion by Camera as a Sensor,” Sensors, Vol.20, No.17:5719, pp.1–16, 2021. **《Impact Factor (2024) = 3.5》**
- J-31. Zhihua Zhang, Juliana Miehle, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Exploring the Impacts of Elaborateness and Indirectness in a Behavior Change Support System,” IEEE Access, Vol.9, pp.74778–74788, 2021. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-32. Tomoki Tanaka, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Evacuation Shelter Decision Method Considering Non–Cooperative Evacuee Behavior to Support the Disaster Weak,” Sustainability, Vol.13, No.9:5106, pp.1–21, 2021. **《Impact Factor (2022) = 3.9》**
- J-33. Masaki Gogami, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Detection of Careless Responses in Online Surveys Using Answering Behavior on Smartphone,” IEEE Access, Vol.9, pp.53205–53218, 2021. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-34. Niklas Rach, Yuki Matsuda, Stefan Ultes, Wolfgang Minker, Keiichi Yasumoto: “Estimating Subjective Argument Quality Aspects from Social Signals in Argumentative Dialogue Systems,” IEEE Access, Vol.9, pp.11610–11621, 2021. **《Impact Factor (2024) = 3.6》**
- J-35. Akihiro Matsuda, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Method for Detecting Street Parking Using Dashboard Camera Videos,” Sensors and Materials, Vol.33, No.1, pp.17–34, 2021. **《Impact Factor (2023) = 1.2》**
- J-36. Shogo Isoda, Masato Hidaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Timeliness–Aware On–Site Planning Method for Tour Navigation,” Smart Cities, Vol.3, No.4, pp.1383–1404, 2020. **《Impact Factor (2024) = 5.5》**
- J-37. Shogo Kawanaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Gamified Participatory Sensing in Tourism: An Experimental Study of the Effects on Tourist Behavior and Satisfaction,” Smart Cities, Vol.3, No.3, pp.736–757, 2020. **《Impact Factor (2024) = 5.5》**
- J-38. Masato Hidaka, Yuki Kanaya, Shogo Kawanaka, Yuki Matsuda, Yugo Nakamura, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “On–Site Trip Planning Support System Based on Dynamic Information on Tourism Spots,” Smart Cities, Vol.3, No.2, pp.212–231, 2020. **《Impact Factor (2024) = 5.5》**
- J-39. Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “WaistonBelt X: A Belt–Type Wearable Device with Sensing and Intervention Toward Health Behavior Change,” Sensors, Vol. 19, No.20:4600, 2019. **《Impact Factor (2024) = 3.5》**
- J-40. Yuki Matsuda, Dmitrii Fedotov, Yuta Takahashi, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “EmoTour: Estimating Emotion and Satisfaction of Users Based on Behavioral Cues and Audiovisual Data,” Sensors, Vol. 18, No.11:3978, 2018. **《Impact Factor (2024) = 3.5》**
- J-41. Yutaka Arakawa, Yuki Matsuda: “Gamification mechanism for enhancing a participatory urban sensing: survey and practical results,” Journal of Information Processing, Vol.57, No.1, pp.31–38, 2016.
- J-42. 松田裕貴, 新井イスマイル, 荒川豊, 安本慶一: “スマートフォン搭載照度センサの個体差に対応した夜道における街灯照度推定値校正手法の提案,” 情報処理学会論文誌, Vol.57, No.2, pp.520–531, 2016年2月.
- J-43. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知による網羅的な街灯情報収集システムの開発,” 情報処理学会論文誌, Vol.55, No.2, pp.750–760, 2014年2月. **《特選論文》**

□ 特許

- P-1. 真弓大輝, 三崎慎也, 松田裕貴, 安本慶一, 中村優吾: “香り情報提示装置及び方法,” 特願 2024-33384(2024年3月出願).
- P-2. 松田裕貴: “算盤センシング装置、方法、及び珠算学習情報提示システム,” 特開 2024-146620 (2023年3月31日出願).
- P-3. 立花巧樹, 中岡黎, 宮地篤士, 富田周作, 松田裕貴, 諏訪博彦: “情報処理システムおよび情報処理方法,” 特開 2023-175413(2022年5月30日出願).
- P-4. 後上正樹, 荒川豊, 松田裕貴, 安本慶一: “モデル構築装置および評価装置,” 特許第 7696631 号 (2021年11月29日出願).
- P-5. 松田裕貴, 片山洋平, 諏訪博彦, 松井智一, 竹山旭, 上田啓太, 川口珠里: “口腔内画像撮像装置および歯科診断支援システム,” 特開 2022-132256(2021年2月27日出願).
- P-6. 中村優吾, 松田裕貴, 中岡黎, 安本慶一: “カトラリー型情報収集装置、情報収集提示システム、方法及びプログラム,” 特許第 7683875 号(2020年12月18日出願).

□ 特集・解説

- M-1. 松田裕貴, 諏訪博彦: “《特集 ナラティブと人工知能》センシングと行動変容におけるナラティブ...ってなんだ?,” 人工知能, Vol.39, No.5, pp.638-644, 2024.
- M-2. 松田裕貴: “オフィスワーカーの心身と環境センシングに向けたアプリケーションの開発と評価,” 生体センシング技術の開発とヘルスケア、遠隔診断への応用, pp.297-306, 2024.
- M-3. 松田裕貴: “ICT そろばん学習支援システム「AbaCaaS」,” 電気計算 2024年6月号, Vol.92, No.6, pp.51-56, 2024.
- M-4. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “差分画像と Grad-CAM による天井損傷領域の特定方法の研究,” 画像ラボ, Vol.34, No.12, pp.35-40, 2023.
- M-5. 松田裕貴: “《連載:5 分で分かる! 有名論文ナナメ読み》Yu, Shuai et al.: An Edge Computing-based Photo Crowdsourcing Framework for Real-time 3D Reconstruction,” 情報処理, Vol.64, No.4, pp.194-196, 2023.
- M-6. 松田裕貴: “観光情報学 -スマートツーリズムに向けた研究動向-:9. 観光客の心理状態推定 -観光に対する感情・満足度の定量的な推定に向けて-,” 情報処理, Vol.62, No.11, pp.e49-e54, 2021.

□ 書籍

- B-1. 荒川豊, 石田繁巳, 松田裕貴, 中村優吾, 安本慶一: “センサと機械学習ではじめる人間行動認識 - 触って動かして理解するセンサデータ処理,” pp.1-129, 2024, 電気書院.
- B-2. 安本慶一, 荒川豊, 松田裕貴: “スッキリ!がってん!IoT の本,” pp.1-143, 2021, 電気書院.

□ プレプリント

- PP-1. Carolin Schindler, Daiki Mayumi, Yuki Matsuda, Niklas Rach, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “ARCADE: An Augmented Reality Display Environment for Multimodal Interaction with Conversational Agents,” arXiv:2408.06222, pp.1-3, 2024.
- PP-2. Jiaxuan Zhang, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Movement Recognition via Channel-Activation-Wise sEMG Attention,” bioRxiv:2023.06.03.543591, pp.1-11, 2023.
- PP-3. Lucas Maris, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Differentially Private Cross-camera Person Re-

identification,” arXiv:2306.02765, pp.1–7, 2023.

- PP-4. Hiroki Ouchi, Hiroyuki Shindo, Shoko Wakamiya, Yuki Matsuda, Naoya Inoue, Shohei Higashiyama, Satoshi Nakamura, Taro Watanabe: “Arukikata Travelogue Dataset,” arXiv:2305.11444, pp.1–6, 2023.
- PP-5. Shohei Higashiyama, Hiroki Ouchi, Hiroki Teranishi, Hiroyuki Otomo, Yusuke Ide, Aitaro Yamamoto, Hiroyuki Shindo, Yuki Matsuda, Shoko Wakamiya, Naoya Inoue, Ikuya Yamada, Taro Watanabe: “Arukikata Travelogue Dataset with Geographic Entity Mention, Coreference, and Link Annotation,” arXiv:2305.13844, pp.1–11, 2023.
- PP-6. 松田裕貴, 尾崎えり子, 日高興人, 吉田友子, 小野博之, 仲林政子, 西浦弘望, 久保進也, 城野聖一: “にじょロボくん: 地域の魅力発信アプリの共創を題材とするGIGAスクール端末を用いた全校縦割り活動の実践,” Jxiv:144, pp.1–11, 2022.
- PP-7. Shogo Kawanaka, Juliana Miehle, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Wolfgang Minker, Keiichi Yasumoto: “Task allocation interface design and personalization in gamified participatory sensing for tourism,” arXiv:2102.05586, pp.1–21, 2021.
- PP-8. Yuki Matsuda, Shogo Kawanaka, Hirohiko Suwa, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “ParmoSense: A Scenario-based Participatory Mobile Urban Sensing Platform with User Motivation Engine,” arXiv:2102.05586, pp.1–24, 2021.

□ 国際会議

- C-1. Yuto Matsuda, Yuki Matsuda: “Tactile Paving Detection and Classification Method Based on Cyclist-Participatory Road Image Sensing,” 27th International Conference on Distributed Computing and Networking (ICDCN ’26 Companion), 2026.
- C-2. Shogo Yoshida, Yuki Matsuda, Kota Tsubouchi, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Wildlife Detection using Motion History Information Captured by Camera Trap in the Dark,” 27th International Conference on Distributed Computing and Networking (ICDCN ’26 Companion), 2026.
- C-3. Brynx Junil Alegarbes, Victor Romero II, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Opportunistic Model Ensembling for Decentralized Learning over Intermittent Edge Networks,” IEEE Annual Congress on Artificial Intelligence of Things (IEEE AIoT ’25), 2025.
- C-4. Yuki Matsuda: “Repot: A Participatory Geo-Tagged Photo Collection Platform,” The 15th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’25), pp.1–2, 2025.
- C-5. Taito Yoshimura, Kotaro Hayashi, Ismail Arai, Yuki Matsuda: “Origin-Destination Estimation for Route Buses Using BLE Advertising Packets: a Case Study on Two Real-World Routes,” The 15th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’25), pp.1–6, 2025.
《Best Student Paper Award》
- C-6. Muhammad Furqan Rasyid, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Context-Aware Adaptive Feedback for Maintaining Healthy Blink Rates During Screen Use,” The 15th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’25), pp.1–6, 2025.
- C-7. Shigeyuki Taira, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Detection of Response Quality Degradation During Crowdsourced Annotation Tasks Using a Conversational Interface,” The 15th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’25), pp.1–6, 2025.
- C-8. Yuki Matsuda, Toma Kobayashi, Hiroki Watanabe, Keiichi Yasumoto: “Effects of Visual Stimuli on Perceived Sound Volume in Virtual Reality Spaces,” The 27th International Conference on Human-Computer Interaction (HCII ’25), Vol.15788, pp.286–299, 2025.
- C-9. Zolboo Damiran, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Exploring Tradeoffs of Annotation Cost and Model Accuracy with Contrastive Learning for Yoga Pose

Classification,” The 21st International Conference on Intelligent Environments (IE ’25), pp.1–8, 2025.
《Best Presentation Award》

- C-10. Yona Zakaria, Eiki Ishidera, Rui Ishiyama, Tomokazu Matsui, Hiroko Suwa, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Counterfeit Medicine Detection by Visual Inspection of Package Design using Multimodal LLMs with Text and Image Prompt Engineering,” The 17th International Conference on Intelligent Medicine and Image Processing (IMIP ’25), Vol.13658, pp.92–99, 2025.
- C-11. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “BubblEat: Designing a Bubble-Based Olfactory Delivery for Retronasal Smell in Every Spoonful,” The 2025 CHI Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI ’25 Late Breaking Work), Article No.118, pp.1–8, 2025.
- C-12. Kazuki Nagayama, Hirohiko Suwa, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Semi-Automatic Detection and Evaluation of Cyclist Points of Interest Using Riding Log Data Analysis,” 2025 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’25 Workshops), pp.367–372, 2025.
- C-13. Victor II Romero, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “OPTIMIST: Opportunistic Federated Transfer Learning for Mobile Devices Using Sequential Independent Subnetwork Training,” 2025 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’25 Workshops), pp.183–188, 2025.
- C-14. Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa: “SenStick-Eye: A Sensing Platform to Observe Behavioral Insights from Small Everyday Objects,” 2025 IEEE International Conference on Consumer Electronics (ICCE ’25), pp.1–2, 2025. 《Best Session Presentation Award》
- C-15. Carolin Schindler, Daiki Mayumi, Yuki Matsuda, Niklas Rach, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “ARCADE: An Augmented Reality Display Environment for Multimodal Interaction with Conversational Agents,” Companion Proceedings of the 26th International Conference on Multimodal Interaction (ICMI Companion ’24), pp.85–87, 2024.
- C-16. Annalena Aicher, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker, Elisabeth André, Stefan Ultes: “Exploring the Impact of Non-Verbal Virtual Agent Behavior on User Engagement in Argumentative Dialogues,” The 12th International Conference on Human-Agent Interaction (HAI ’24), pp.224–232, 2024. 《Best Paper Award》
- C-17. Victor Romero II, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Towards Opportunistic Federated Learning Using Independent Subnetwork Training,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.174–181, 2024.
- C-18. Haruka Sakagami, Osamu Yamada, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Method for City-wide PoI-level Congestion Prediction via Assimilation of Actual and Simulation-based PoI Congestion Data,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.39–46, 2024.
- C-19. Yuki Matsuda: “A Table-top Interface for Real-time Coaching in Abacus Learning,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.243–245, 2024.
- C-20. Chingyuan Lin, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Detecting Distress Changes Using Multimodal Data During Interaction with A Smart Speaker,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.352–357, 2024.
- C-21. Osamu Yamada, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Crowd Flow Prediction from Mobile Traces Through Time Series PoI Stay Counts,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.268–273, 2024.
- C-22. Lucas Maris, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Protecting Cross-camera Person Re-identification Data with Image Differential Privacy,” The 10th International Conference on Smart Computing (SmartComp ’24), pp.388–393, 2024.

- C-23. Shohei Higashiyama, Hiroki Ouchi, Hiroki Teranishi, Hiroyuki Otomo, Yusuke Ide, Aitaro Yamamoto, Hiroyuki Shindo, Yuki Matsuda, Shoko Wakamiya, Naoya Inoue, Ikuya Yamada, Taro Watanabe: “Arukikata Travelogue Dataset with Geographic Entity Mention, Coreference, and Link Annotation,” Findings of the Association for Computational Linguistics (EACL ’24), pp.513–532, Mar. 17–22, 2024.
- C-24. Yoshinobu Fukumitsu, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Detecting Careless Responses in Dataset Annotation using Screen Operation Logs,” 2024 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’24), pp.1–6, Mar.11–15, 2024.
- C-25. Yuki Mishima, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Micro Activity Recognition Using Multi-View 3D Point Clouds,” 2024 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’24), pp.1–4, Mar.11–15, 2024.
- C-26. Ippei Goto, Kentaro Ueda, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “BLESS: BLE based Street Sensing for People Counting and Flow Direction Estimation,” 2024 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’24), pp.1–6, Mar. 11–15, 2024.
- C-27. Yuki Matsuda, Kentaro Ueda, Eigo Taya, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “BLECE: BLE-Based Crowdedness Estimation Method for Restaurants and Public Facilities,” The 14th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’23), pp.1–6, Nov. 29–Dec. 1, 2023.
- C-28. Sergio De León Aguilar, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Mobile AR Interface for Instruction-Based Disaster Preparedness Guidelines,” The 14th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’23), pp.1–7, Nov. 29–Dec. 1, 2023.
- C-29. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Shinya Misaki, Keiichi Yasumoto: “Kaolid: a Lid-type Olfactory Interface to Present Retronasal Smell towards Beverage Flavor Augmentation,” The 13th International Conference on the Internet of Things (IoT ’23), pp.1–8, Nov. 7–10, 2023. **《Best Paper Candidate Award》**
- C-30. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Annalena Aicher, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Design of a Spoken Dialogue System to Provide Food Knowledge to Users while Eating,” The 13th International Conference on the Internet of Things (IoT ’23), pp.154–157, Nov. 7–10, 2023.
- C-31. Hiroki Matsuda, Taichi Sakakibara, Daiki Mayumi, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Analysis of Relationship Between Non-Identifiable TV Viewing History Data and Web Search Trends,” the 12th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE ’23), pp.1109–1110, Oct. 10–13, 2023.
- C-32. Shinya Akiyama, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Method of Crowdsourced Task Request Optimization for 3D Reconstruction in Urban Space,” the 12th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE ’23), pp.623–624, Oct. 10–13, 2023.
- C-33. Annalena Aicher, Daniel Kornmueller, Yuki Matsuda, Stefan Ultes, Wolfgang Minker, Keiichi Yasumoto: “Towards Breaking the Self-imposed Filter Bubble in Argumentative Dialogues,” the 24th Meeting of the Special Interest Group on Discourse and Dialogue (SIGDIAL ’23), pp.1–12, Sept. 11–15, 2023.
- C-34. Yuki Matsuda: “Abacus Manipulation Understanding by Behavior Sensing Utilizing Document Camera as a Sensor,” The 5th International Conference on Activity and Behavior Computing (ABC ’23), pp.1–18, Sept. 7–9, 2023. (accepted)
- C-35. Masaki Kawanaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Dashcam Video Curation for Generating Memorial Movies on Tourism using Multiple Measures of ‘Tourist Spot Likeness’,” The 25th International Conference on Human–Computer Interaction (HCII ’23), pp.238–249, Jul. 23–28,

2023.

- C-36. Nanako Michiura, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Self-management System for Preventing Hyperglycemia Through Blood Glucose Level Prediction and Nudge-based Food Amount Reduction,” The 45th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC ’23), pp.1–7, Jul. 24–27, 2023.
- C-37. Mario Carreon, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Exploring Gaze Tracking and Code Logging in IDEs as a Passive Way to Ask for Help in Introduction to Programming Classes,” Proceedings of the 54th ACM Technical Symposium on Computer Science Education V.2 (SIGCSE ’23), p.1270, Mar. 15–18, 2023.
- C-38. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Kentaro Ueda, Shinya Misaki, Keiichi Yasumoto: “Kaolid: Lid-type Olfactory Interface to Improve Taste of Beverages with Ortho–Retronasal Smell,” The 21st International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’23 Workshops), Demo, pp.303–305, Mar. 13–17, 2023.
- C-39. Lucas Maris, Yuki Matsuda, Ramin Sadre, Keiichi Yasumoto: “Towards Cheaper Tourists’ Emotion and Satisfaction Estimation with PCA and Subgroup Analysis,” 2023 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom ’23 Workshops), pp.502–508, Mar. 13–17, 2023.
- C-40. Yuki Matsuda: “IoPT: A Concept of Internet of Perception-aware Things,” The 12th International Conference on the Internet of Things (IoT ’22), pp.201–204, Nov. 7–10, 2022.
- C-41. Koki Tachibana, Yuki Matsuda, Kaito Isobe, Daiki Mayumi, Takamasa Kikuchi, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto, Kazuya Murao: “Tongaraas: Tongs for Recognizing Littering Garbage with Active Acoustic Sensing,” The 12th International Conference on the Internet of Things (IoT ’22), pp.224–230, Nov. 7–10, 2022.
- C-42. Jiaxuan Zhang, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Feasibility Analysis of sEMG Recognition via Channel-Wise Transformer,” IEEE 11th Global Conference on Consumer Electronics (GCCE ’22), pp.105–106, Oct. 18–21, 2022.
- C-43. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Shinya Misaki, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Aromug: Mug-type Olfactory Interface to Assist in Reducing Sugar Intake,” The 5th International Workshop on Computing for Well-Being (WellComp ’22), pp.183–187, Sept. 15, 2022. **《Best Paper Award》**
- C-44. Junko Nohara, Tomo Kusunoki, Daiki Mayumi, Yuki Matsuda, Yugo Nakamura, Emiko Iwata: “Examination of Effective Deliciousness Transmission Method That Leads to Purchasing Behavior of Yamato (Another Name for Nara, the Ancient Capital of Japan)’s Traditional Vegetable ”Yamato–maru Eggplant” That Makes Full Use of Nudge Theory and Information,” Poster, the 8th Asian Congress of Dietetics (ACD ’22), Oct. 19–21, 2022.
- C-45. Ko Watanabe, Yuki Matsuda, Yugo Nakamura, Yutaka Arakawa, Shoya Ishimaru: “How do Programmers Use the Internet? Discovering Domain Knowledge from Browsing and Coding Behaviors,” The 8th IEEE International Conference on Smart Data (SmartData ’22), pp.605–610, Aug. 25, 2022.
- C-46. Satoshi Yoshimura, Teruhiro Mizumoto, Yuki Matsuda, Keita Ueda, Akira Takeyama: “Measuring Health Conditions Every Morning using a Smart Toothbrush with a Gas Sensor,” International Workshop on Intelligent Environments Supporting Healthcare and Well-being (WISHWell ’22), pp.360–369, June 20, 2022.
- C-47. Kazuki Oi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Keiichi Yasumoto: “Short Stick Exercise Tracking System for Elderly Rehabilitation using IMU Sensor,” The 2nd International Workshop on Cyber–Physical–Human System Design and Implementation (CPHS ’22), pp.13–18, May 3, 2022.
- C-48. Eigo Taya, Yuji Kanamitsu, Koki Tachibana, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Estimating Congestion in Train Cars by Using BLE Signals,” The 2nd Workshop on Data–

Driven and Intelligent Cyber–Physical Systems for Smart Cities (DI–CPS ’22), pp.1–7, May 3, 2022.

- C-49. Daiki Mayumi, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Tomokazu Matsui, Shinya Misaki, Keiichi Yasumoto, Junko Nohara: “Aroma Nudges: Exploring the Effects on Shopping Behavior in a Supermarket,” Adjunct Proceedings of the 17th International Conference on Persuasive Technology (PT ’22 Adjunct), pp.1–11, Mar. 29, 2022.
- C-50. Ryoya Hayashi, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Multimodal Tourists’ Emotion and Satisfaction Estimation Considering Weather Conditions and Analysis of Feature Importance,” The 13th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’21), pp.145–150, Nov. 17–19, 2021.
- C-51. Eunice Likotiko, Shinya Misaki, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “SGBS: A novel smart garbage bin system for understanding household garbage disposal behaviour,” The 13th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’21), pp.1–8, Nov. 17–19, 2021.
- C-52. Shuichi Fukuda, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Statistical Analysis between Sleep Status and Occupational Health Indicators for Detecting Depression Signs in Healthy Workers,” The 13th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU ’21, Poster), pp.1–2, Nov. 17–19, 2021.
- C-53. Kohei Oyama, Yuki Matsuda, Rio Yoshikawa, Yugo Nakamura, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Method for Expressing Intention for Suppressing Careless Responses in Participatory Sensing,” 18th EAI International Conference on Mobile and Ubiquitous Systems: Computing, Networking and Services (MobiQuitous ’21 Workshop), pp.769–782, Nov. 8–11, 2021.
- C-54. Rio Yoshikawa, Yuki Matsuda, Kohei Oyama, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Analysis of the Effects of Cognitive Stress on the Reliability of Participatory Sensing,” 18th EAI International Conference on Mobile and Ubiquitous Systems: Computing, Networking and Services (MobiQuitous ’21 Workshop), pp.634–649, Nov. 8–11, 2021.
- C-55. Satoshi Yoshimura, Teruhiro Mizumoto, Yuki Matsuda, Keita Ueda, Akira Takeyama: “Daily Health Condition Estimation using a Smart Toothbrush with Halitosis Sensor,” 18th EAI International Conference on Mobile and Ubiquitous Systems: Computing, Networking and Services (MobiQuitous ’21 Workshop), pp.665–678, Nov. 8–11, 2021.
- C-56. Yugo Nakamura, Yuki Matsuda: “IoT Nudge: IoT Data–driven Nudging for Health Behavior Change,” Adjunct Proceedings of the 2021 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp ’21 Adjunct, Poster), pp.51–53, Sept. 21–26, 2021. **《Best Poster Honorable Mention Award》**
- C-57. Yuji Kanamitsu, Koki Tachibana, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Using Interaction as Nudge to Increase Installation Rate of COVID-19 Contact–Confirming Application,” Adjunct Proceedings of the 2021 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp ’21 Adjunct, Poster), pp.36–37, Sept. 21–26, 2021.
- C-58. Rei Nakaoka, Yugo Nakamura, Yuki Matsuda, Shinya Misaki, Keiichi Yasumoto: “eat2pic: Food–tech Design as a Healthy Nudge with Smart Chopsticks and Canvas,” 2021 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom Workshops ’21, Demo), pp.389–391, March 22–26, 2021. **《Best Demo Award》**
- C-59. Akihiro Matsuda, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A System for Real-time On-street Parking Detection and Visualization on an Edge Device,” 2021 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops and other Affiliated Events (PerCom Workshops ’21, PerVehicle), pp.227–232, March 22–26, 2021.
- C-60. Shogo Kawanaka, Juliana Miehle, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Design and Evaluation on Task Allocation Interfaces in Gamified Participatory Sensing for Tourism,”

17th EAI International Conference on Mobile and Ubiquitous Systems: Computing, Networking and Services (MobiQuitous '20 Workshop), pp. 458–463, December 7–9, 2020.

- C-61. Shuichi Fukuda, Hyuckjin Choi, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Fishing Activity Sensing and Visualization System using Sensor-equipped Fishing Rod: Demo Abstract,” The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys ’20), pp.615–616, November 16–19, 2020. 《**Best Demo Runner-up**》
- C-62. Shogo Isoda, Masato Hidaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “User Decision Support System for On-Site tourism Navigation on smartphone: Demo Abstract,” The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys ’20), pp.641–642, November 16–19, 2020.
- C-63. Akihiro Matsuda, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “A Method for Detecting Street Parking Using Dashboard Camera Videos on an Edge Device: Demo Abstract,” The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys ’20), pp.585–586, November 16–19, 2020.
- C-64. Shogo Isoda, Shogo Kawanaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “How Much Does Human Mobility Behavior Affect The COVID-19 Infection Spread?: Poster Abstract,” The 18th ACM Conference on Embedded Networked Sensor Systems (SenSys ’20), pp.766–767, November 16–19, 2020.
- C-65. Yuki Matsuda and Yugo Nakamura: “Towards Automatic Waistline Measurement with A Smartwatch,” 2nd International Conference on Activity and Behavior Computing (ABC ’20), non-archival presentation, pp.1–9, Aug 26–29, 2020.
- C-66. Yuki Matsuda, Dmitrii Fedotov, Yutaka Arakawa, Hirohiko Suwa, Wolfgang Minker, Keiichi Yasumoto: “Analysis of Tourists’ Nationality Effects on Behavior-based Emotion and Satisfaction Estimation,” 4th International Conference on Imaging, Vision & Pattern Recognition (IVPR ’20), pp.1–7, Aug 26–29, 2020.
- C-67. Niklas Rach, Yuki Matsuda, Johannes Daxenberger, Stefan Ultes, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Evaluation of Argument Search Approaches in the Context of Argumentative Dialogue Systems,” The 12th International Conference on Language Resources and Evaluation (LREC ’20), pp.513–522, Marseille, France, May 11–16, 2020.
- C-68. Zhihua Zhang, Yuki Matsuda, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Embedding Additional Behaviors Into Users’ Daily Routines for Improving Users’ Awareness of Self-Health Condition,” 15th International Conference on Persuasive Technology (PT ’20, BCSS), pp.1–6, Aalborg, Denmark, April 20–23, 2020.
- C-69. Shuichi Fukuda, Yuri Tani, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Predicting Depression and Anxiety Mood by Wrist-Worn Sleep Sensor,” 2020 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops (PerCom Workshops ’20, WristSense), pp.1–6, Online, March 23–27, 2020.
- C-70. Yuri Tani, Shuichi Fukuda, Yuki Matsuda, Sozo Inoue, Yutaka Arakawa: “WorkerSense: Mobile Sensing Platform for Collecting Physiological, Mental, and Environmental State of Office Workers,” 2020 IEEE International Conference on Pervasive Computing and Communications Workshops (PerCom Workshops ’20, PerHealth), pp.1–6, Online, March 23–27, 2020.
- C-71. Yusuke Soneda, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Multimodal Recording System for Collecting Facial and Postural Data in a Group Meeting,” 27th International Conference on Computers in Education (ICCE ’19), pp.466–471, Kenting, Taiwan, December 4–6, 2019.
- C-72. Yusuke Soneda, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “M3B Corpus: Multi-Modal Meeting Behavior Corpus for Group Meeting Assessment,” Adjunct Proceedings of the 2019 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp ’19 Adjunct,

HASCA Workshop), pp.825–834, London, United Kingdom, September 10, 2019.

- C-73. Dmitrii Fedotov, Yuki Matsuda, Yuta Takahashi, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Towards Real-Time Contextual Touristic Emotion and Satisfaction Estimation with Wearable Devices,” Demonstration on Pervasive Computing and Communications 2019 (PerCom’19), pp. 358–360, Kyoto, Japan, March 11–15, 2019. **《Best Demo Award》**
- C-74. Dmitrii Fedotov, Yuki Matsuda, Wolfgang Minker: “From Smart to Personal Environment: Integrating Emotion Recognition into Smart Houses,” The 1st International Workshop on Pervasive Computing and Spoken Dialogue Systems Technology (PerDial’19), in conjunction with Pervasive Computing and Communications 2019 (PerCom’19), pp. 943–948, Kyoto, Japan, March 11–15, 2019.
- C-75. Kenta Taki, Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Design and Implementation of Notification Information Survey System and Survey Results Toward Use-side Adaptive Notification Management,” The first International Workshop on Pervasive Persuasive System for Behavior Change (PerPersuasion’19), in conjunction with Pervasive Computing and Communications 2019 (PerCom ’19), pp. 808–813, Kyoto, Japan, March 11–15, 2019.
- C-76. Yuki Matsuda, Dmitrii Fedotov, Yuta Takahashi, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “EmoTour: Multimodal Emotion Recognition using Physiological and Audio–Visual Features,” Ubiquitous Emotion Recognition with Multimodal Mobile Interfaces (UERMMI), in Adjunct Proceedings of the 2018 ACM International Joint Conference and 2018 International Symposium on Pervasive and Ubiquitous Computing and Wearable Computers (UbiComp/ISWC’18), pp.946–951, Singapore, Singapore, October 8, 2018.
- C-77. Dmitrii Fedotov, Yuki Matsuda, Yuta Takahashi, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Towards Estimating Emotions and Satisfaction Level of Tourist based on Eye Gaze and Head Movement,” Proceedings of the 2018 IEEE International Conference on Smart Computing (SMARTCOMP’18), pp.399–404, Sicily, Italy, June 18, 2018.
- C-78. Shogo Kawanaka, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “A gamified participatory sensing for tourism: the effect to a sightseeing,” The Third International Workshop on Smart Sensing Systems (IWSSS’18), pp.196–205, Roma, Italy, June 25–28, 2018.
- C-79. Yuki Matsuda, Dmitrii Fedotov, Yuta Takahashi, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto, Wolfgang Minker: “Estimating User Satisfaction Impact in Cities using Physical Reaction Sensing and Multimodal Dialogue System,” The Ninth International Workshop on Spoken Dialog System Technology (IWSDS’18), pp.1–6, Singapore, Singapore, May 14–16, 2018.
- C-80. Masato Hidaka, Yuki Matsuda, Shogo Kawanaka, Yugo Nakamura, Manato Fujimoto, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “A System for Collecting and Curating Sightseeing Information toward Satisfactory Tour Plan Creation,” The Second International Workshop on Smart Sensing Systems (IWSSS’17), Oulu, Finland, August 7–8, 2017.
- C-81. Yuki Matsuda, Takashi Hasegawa, Ismail Arai, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “WaistonBelt 2: A Belt-type Wearable Device for Monitoring Abdominal Circumference, Posture and Activity,” The 9th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU’16), Kaiserslautern, Germany, October 4–6, 2016.
- C-82. Yuki Matsuda, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “Design and Evaluation of Participatory Mobile Sensing Platform for Diverse Sensing and Gamification Scenarios,” ASSET Poster on the 14th ACM International Conference on Mobile Systems, Applications, and Services (MobiSys’16), p.57, Singapore, Singapore, June 23–30, 2016.
- C-83. Yuki Matsuda, Takashi Hasegawa, Keiichiro Iwanami, Naoya Saito, Takuya Ishioka, Ismail Arai, Yutaka Arakawa, Keiichi Yasumoto: “WaistonBelt: A Belt for Monitoring Your Real Abdominal Circumference Forever,” Demonstration on the 2015 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp’15), pp.329–332, Osaka, Japan, September 9–11, 2015.

- C-84. Yuki Matsuda, Ismail Arai: "A Safety Assessment System for Sidewalks at Night Utilizing Smartphones' Light Sensors," Poster, Adjunct Proceedings of the 2014 ACM International Joint Conference on Pervasive and Ubiquitous Computing (UbiComp '14 Adjunct), pp.115–118, Seattle, WA, USA, September 13–17, 2014.
- C-85. Yuki Matsuda, Ismail Arai: "An Experiment of A Streetlamp Classifying and A Vertical Illuminance Assessing Utilizing Smartphones' Light Sensors," The third International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS'13), No.264, Hong Kong, China, November, 2013.

□ 一般発表(研究会・全国大会・総合大会)

- D-1. 林虎太朗, 松田悠斗, 松田裕貴, 池尻拓巨, 横田哲弥, 松田裕貴: “非特定テレビ視聴履歴データの視聴時間帯特徴に基づく視聴行動クラスタリング分析,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-2. 山崎南穂, 松田裕貴: “個人適応型観光推薦に向けた嗜好・性格推定のための旅行写真アルバム分析手法,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-3. 繁木太翔, 松田裕貴: “自動運転車における視覚的情報提示手法が乗客の安心感・信頼感に及ぼす影響の調査,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-4. 松田悠斗, 松田裕貴: “自転車ユーザ参加型路面画像センシングによる点字ブロック検出における性能向上方法の模索,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-5. 表具真衣, 松田裕貴: “靴装着型センサデバイスを用いた競歩における反則判定手法の提案,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-6. 吉村太斗, 松田裕貴: “モバイルデバイスのインカメラを用いた算盤行動センシング,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-7. 鳥垣耀平, 松田裕貴: “LLM を用いた対話型芸術鑑賞システムの運用実験と対話ログ分析 ~ 三つの異なる鑑賞環境を対象として ~,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-8. 三宅真由, 繁木太翔, 川上善大, 松田裕貴: “機器トラブルの電話サポート支援のための可聴音を用いた情報通信手法の提案,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), 大分県由布市, 2026年1月. (submitted)
- D-9. 湯村翼, 松田裕貴: “地産地消型センシングに向けた植物の葉への電子回路形成の検討,” 第33回インターラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ(WIIS 2025), No.1-A04, pp.1-3, 北海道札幌市, 2025年12月.
- D-10. 寺岡莉玖, 細川蓮, 立花巧樹, 呉健朗, 林虎太朗, 吉村太斗, 謙訪博彦, 松田裕貴: “BLE センシングによる人数・体感混雑度推定:三種空間の比較実験,” 第33回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS 2025), pp.229–236, 高知県高知市, 2025年11月.
- D-11. 小手川康太, 小寄泰造, 松井智一, 松田裕貴, 謙訪博彦, 安本慶一: “リールセンサデータを用いた海上釣り堀における釣り動作・状態認識,” 第33回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS 2025), pp.63-69, 高知県高知市, 2025年11月. 《最優秀プレゼンテーション賞》
- D-12. 大山拓真, 岡田昂也, 毛利心治, 牛田智也, 惠谷高清, 池朔太郎, 表具真衣, 林虎太朗, 吉村太斗, 松田裕貴: “Slack Rail を用いた体幹・バランストレーニング支援のための体動センシングシステムの開発,” 2025年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-38, pp.1-6, オンライン, 2025年9月. 《ジュニア会員特別賞》

- D-13. 繾木太翔, 松田裕貴: “自動運転車における乗客の安心感・信頼感向上のための視覚的フィードバック提示手法の検討,” 2025 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-04, pp.1-7, オンライン, 2025 年 9 月.
- D-14. 表具真衣, 松田裕貴: “競歩フォーム評価のための靴装着型センサデバイスの設計と検討,” 2025 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-24, pp.1-7, オンライン, 2025 年 9 月. 《支部大会奨励賞》
- D-15. 松田悠斗, 松田裕貴: “自転車ユーザ参加型路面画像センシングによる点字ブロック配置情報の収集手法の検討,” 2025 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-03, pp.1-8, オンライン, 2025 年 9 月. 《学生優秀発表賞》
- D-16. 山崎南穂, 松田裕貴: “個人適応型観光推薦のための写真アルバム分析による嗜好・性格推定手法の検討,” 2025 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-05, pp.1-7, オンライン, 2025 年 9 月.
- D-17. 松田悠斗, 林虎太朗, 松田裕貴, 池尻拓巨, 横田哲弥, 松田裕貴: “非特定テレビ視聴履歴データを用いた就寝前後における視聴チャンネルの関係性分析,” 研究報告ユビキタスコンピューティングシステム(UBI), Vol.2025-UBI-87, No.49, pp.1-8, 富山県富山市, 2025 年 9 月. 《UBI ヤングリサーチャー賞》《デモ・ポスターコミュニケーション部門賞》
- D-18. 古城司, 小坂修平, 菊池尊勝, 佐々木航, 松田裕貴, 諏訪博彦, 坪内孝太, 安本慶一: “iPhone LiDAR による野生動物痕跡認識の試み: 参加型センシング基盤の構築と初期評価,” 研究報告ユビキタスコンピューティングシステム(UBI), Vol.2025-UBI-87, No.2, pp.1-8, 富山県富山市, 2025 年 9 月. 《学生奨励賞》
- D-19. 荒川豊, 中村優吾, 松田裕貴, 高橋徹, 東野輝夫: “視覚的誘導要素を含めたイラスト地図が観光行動に与える影響の実証分析,” 研究報告モバイルコンピューティングと新社会システム(MBL), Vol.2025-MBL-115, No.42, pp.1-8, 沖縄県名護市, 2025 年 5 月. 《優秀ポスター賞》
- D-20. 林虎太朗, 吉村太斗, 小林博之, 今村亮, 伊藤みな, 牛島清豪, 諏訪博彦, 松田裕貴: “BLE アドバタイズパケットによる都市人流推定の実践 ~佐賀市における国スポ開催期間のデータ分析と考察~,” 研究報告マルチメディア通信と分散処理(DPS), Vol.2025-DPS-203, No.22, pp.1-8, 沖縄県名護市, 2025 年 5 月.
- D-21. 吉村太斗, 林虎太朗, 新井スマイル, 松田裕貴: “BLE アドバタイジングパケットを用いた路線バスの OD データ推定 ~実運用する 2 路線におけるデータ分析と考察~,” 研究報告高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS), Vol.2025-ITS-101, No.13, pp.1-8, 沖縄県名護市, 2025 年 5 月. 《奨励発表賞》
- D-22. 鳥垣耀平, 松田裕貴: “表情や仕草データを用いた美術鑑賞者の心理状態推定手法の提案と評価,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), Vol.125, No.29, pp.31-36, 沖縄県名護市, 2025 年 5 月.
- D-23. 松田裕貴, 河口信夫, 山口弘純, 藤本まなと, 寺田努, 安本慶一: “ユーザ参加型パビリオン待ち時間共有システム「EXPO2025wait」の検討,” 第 86 回 UBI 研究会ポスター発表(non-archival), 東京都府中市, 2025 年 5 月.
- D-24. 平良繁幸, 松田裕貴, 福光嘉伸, 諏訪博彦, 安本慶一: “クラウドソーシングにおける対話型インターフェースを用いたアノテーションタスク遂行時の回答品質低下の検知手法,” 研究報告ユビキタスコンピューティングシステム(UBI), Vol.2025-UBI-86, No.9, pp.1-8, 東京都府中市, 2025 年 5 月.
- D-25. 小嵜泰造, 松田裕貴: “ゲーミフィケーションを活用した珠算学習支援システム「CalcQuest」のユーザスタディ,” AIoT 行動変容学会第 9 回研究会(BTI-9), pp.1-8, 北海道函館市, 2025 年 3 月.
- D-26. 澤野耕平, 松田裕貴, 中谷響, 大内啓樹, 諏訪博彦, 安本慶一: “未登録 PoI 探索のための時系列 SNS 投稿データに基づく位置推定手法の提案と評価,” AIoT 行動変容学会第 9 回研究会(BTI-9), pp.1-8, 北海道函館市, 2025 年 3 月.
- D-27. 由田翔吾, 松田裕貴, 松田裕貴, 横田哲弥, 榊原太一, 安本慶一: “非特定テレビ視聴履歴データに基づくテレビ視聴行動クラスタリングと視聴傾向変化分析,” AIoT 行動変容学会第 9 回研究会(BTI-9), pp.1-7, 北海道函館市, 2025 年 3 月.

- D-28. 河原美優, 松田裕貴, 後藤佑介: “パワーリフティング競技におけるウェアラブルセンサを用いたソフト試技判定手法,” 第 17 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM2025), pp.1-7, オンライン, 2025 年 3 月.
- D-29. 松田裕貴, 林虎太朗, 吉村太斗: “BLE アドバタイジングパケットを活用した都市人流推定,” Japan UBI Symposium 2025, 大阪府大阪市, 2025 年 2 月.
- D-30. 筒井巽水, 松田裕貴, 秦恭史, 諏訪博彦, 峯英一郎, 稲場圭信, 安本慶一: “スマートフォンのブラウザ記憶領域を用いたインフラレス災害情報流通システム,” Japan UBI Symposium 2025, 大阪府大阪市, 2025 年 2 月.
- D-31. 真弓大輝, 松田裕貴, 松田裕貴, 横田哲弥, 榊原太一, 安本慶一: “非特定テレビ視聴履歴データを用いたテレビ視聴行動クラスタリング手法の構築と評価,” AIoT 行動変容学会第 8 回研究会(BTI-8), pp.23-30, 岡山県岡山市, 2024 年 12 月.
- D-32. 松田裕貴, 立花巧樹, 呉健朗, 諏訪博彦: “マルチモーダルセンサとLLMを用いた個人の体感推定手法の検討,” コラボレーションとネットワークサービスワークショップ 2024(CN Workshop '24), pp.85-86, 石川県加賀市, 2024 年 11 月.
- D-33. 土橋有理, 秦恭史, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ゲーミフィケーションを活用した外出交流促進システムの開発,” 第 32 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '24), pp.168-171, 広島県廿日市市, 2024 年 10 月.
- D-34. 筒井巽水, 松田裕貴, 秦恭史, 諏訪博彦, 峯英一郎, 稲場圭信, 安本慶一: “スマートフォンのブラウザ記憶領域を用いた災害情報流通システムの実装,” 第 32 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '24), pp.160-167, 広島県廿日市市, 2024 年 10 月. **《優秀デモンストレーション賞》**
- D-35. Muhammad Furqan Rasyid, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “EyeWise: A Nudge Theory-Based Approach to Enhancing Blink Behavior in Computer Users,” 第 32 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS '24), pp.221-223, 広島県廿日市市, 2024 年 10 月.
- D-36. 吉村太斗, 林虎太朗, 新井イスマイル, 松田裕貴: “BLE のランダム MAC アドレスを用いた OD データ推定に向けた初期検討,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-11, pp.1-8, オンライン, 2024 年 9 月. **《支部大会奨励賞》**
- D-37. 林虎太朗, 吉村太斗, 諏訪博彦, 松田裕貴: “複数台の BLE スキャナを用いた都市人流推定に向けた基礎検討,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-38, pp.1-8, オンライン, 2024 年 9 月.
- D-38. 鳥垣耀平, 諏訪博彦, 安本慶一, 松田裕貴: “美術館における鑑賞者の心理状態推定に向けた基礎分析,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-16, pp.1-6, オンライン, 2024 年 9 月. **《学生優秀発表賞》**
- D-39. 古城司, 由田翔吾, 坪内孝太, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “野生動物の生息域推定精度向上のための LiDAR 点群データによる痕跡分類手法の提案,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-55, pp.1-6, オンライン, 2024 年 9 月. **《支部大会奨励賞》**
- D-40. 菊池尊勝, 池永拓海, 細川蓮, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ユーザー参加型 BLE スキャニングによる都市空間の混雑度推定に向けた検討,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, C-06, pp.1-6, オンライン, 2024 年 9 月. **《支部大会奨励賞》**
- D-41. 長山和樹, 諏訪博彦, 松田裕貴, 安本慶一: “サイクリスト PoI を自動検出／評価をするための走行ログデータ解析手法の提案,” 2024 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, G-37, pp.1-7, オンライン, 2024 年 9 月.
- D-42. 立花巧樹, 呉健朗, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “未知ゴミ識別のための判定手法の比較と実用化に向けた検討,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2024)シンポジウム論文集, pp.33-38, 岩手県花巻市, 2024 年 6 月. **《野口賞(デモ賞)》《ヤングリサーチャ賞》**

- D-43. 阪上遙, 山田理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: 属性情報を考慮した人流シミュレーション機構の構築と評価,” 研究報告マルチメディア通信と分散処理(DPS), Vol.2024-DPS-198, No.45, pp.1-8, 千葉県習志野市, 2024年3月.
- D-44. 近藤亮介, 松田裕貴, Stefano Di Terlizzi, Dragan Ahmetovic, 福光嘉伸, 平良繁幸, 諏訪博彦, Sergio Mascetti, 安本慶一: “美術館における鑑賞者の心理状態推定に向けたマルチモーダルデータセットの構築,” 社会情報学会関西支部研究会(SSI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-10, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-45. 小嵜泰造, 松田裕貴: “珠算学習における計算結果の逐次分析による苦手操作検出手法の提案,” 社会情報学会関西支部研究会(SSI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-46. 由田翔吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “参加型痕跡センシングによる害獣生息予測のための痕跡収集方法の提案,” 日本ソフトウェア科学会(JSSST) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-6, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-47. 由田翔吾, 真弓大輝, 榊原太一, 松田裕貴, 松田裕貴: “非特定視聴履歴データを用いたテレビ視聴傾向クラスタリング手法の検討,” 日本ソフトウェア科学会(JSSST) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-6, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-48. 澤野耕平, 池永拓海, 後藤逸兵, 中村翼, 松田裕貴, 諏訪博彦: “地域住民参加型土地利用把握アプリの開発と運用,” 日本ソフトウェア科学会(JSSST) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-6, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-49. 筒井巽水, 松田裕貴, 秦恭史, 諏訪博彦, 峯英一郎, 稲場圭信, 安本慶一: “スマートフォンのブラウザ記憶領域を用いた災害情報流通システムの提案,” 第49回社会におけるAI研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-50. 池永拓海, 後藤逸兵, 上田健太郎, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLE受信状況に基づくバス乗降者数推定手法の提案と評価,” 第49回社会におけるAI研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-51. 土橋有理, 秦恭史, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLEアドレスの組み合わせと受信強度による位置推定手法の提案,” 第49回社会におけるAI研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-52. 近藤亮介, 真弓大輝, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “釣り上達支援システムの実現に向けたキャスト種類の分類および評価,” 第49回社会におけるAI研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-53. 福光嘉伸, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “クラウドソーシングでの固有表現アノテーションにおける不良回答の検出,” 第19回行動変容と社会システム研究会(BCSS) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-54. 真弓大輝, 中村優吾, 松田裕貴, 三崎慎也, 安本慶一: “飲料体験を拡張する充電不要な蓋型嗅覚インターフェースの実現に向けた基礎検討,” 第19回行動変容と社会システム研究会(BCSS) / 社会システムと情報技術研究ワーク(WSSIT '24), pp.1-6, 北海道虻田郡, 2024年3月.
- D-55. 澤野耕平, 松田裕貴, 大内啓樹, 諏訪博彦, 安本慶一: “写真付き時系列SNS投稿データを用いたPoI位置推定手法の検討,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), vol.123, no.400, pp.54-59, 福岡県博多市, 2024年3月.
- D-56. 道浦菜々子, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “食後高血糖予防のための推薦摂取量算出方式の満足度評価,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), vol.123, no.400, pp.7-12, 福岡県博多市, 2024年3月.
- D-57. ChingYuan Lin, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “Detecting Distress Variations Using Multimodal Data Obtained through Interaction with A Smart Speaker,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), vol.123, no.400, pp.13-18,

福岡県博多市, 2024 年 3 月.

- D-58. 池永拓海, 松田裕貴, 後藤逸兵, 上田健太郎, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLE 受信状況に基づくバス乗客の体感混雑度推定手法の検討,” 第 30 回社会情報システム学シンポジウム(ISS30), pp.1-6, 東京都調布市, 2024 年 2 月.
- D-59. 福光嘉伸, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “固有表現アノテーションにおける画面操作記録を用いた不良回答検出,” 研究報告ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI), Vol.2024-HCI-206, No.40, pp.1-7, 沖縄県那覇市, 2024 年 1 月.
- D-60. 辻井高浩, 松田裕貴, 堀内正年, 諏訪博彦, 新井スマイル, 安本慶一: “スマートシティおよび発災時における地域 BWA 有効活用の一考察,” 大学 ICT 推進協議会 2023 年度年次大会(AXIES '23), pp.1-4, 愛知県名古屋市, 2023 年 12 月.
- D-61. 中村優吾, 中岡黎, 松田裕貴, 安本慶一: “eat2pic: 食を通じた色塗りインタラクションに基づく行動変容支援システム,” 第 31 回インタラクティブシステムとソフトウェアに関するワークショップ(WIIS '23), pp.1-3, 山梨県北杜市, 2023 年 11-12 月.
- D-62. 後藤逸兵, 上田健太郎, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLE の時系列 RSSI に基づく人流クラスタを使用した移動方向と人数の推定,” コラボレーションとネットワークサービスワークショップ 2023(CN Workshop '23), pp.1-7, 群馬県吾妻郡, 2023 年 11 月.
- D-63. 阪上遙, 山田理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “PoI 間遷移確率と合成人口データを用いた人流シミュレーション機構の構築,” 研究報告モバイルコンピューティングと新社会システム(MBL), Vol.2023-MBL-109, No.24, pp.1-7, 福井県大野市, 2023 年 9 月. 《優秀論文賞》
- D-64. 道浦菜々子, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “血糖値予測精度向上に向けたデータ分析と摂食速度の影響調査,” 第 31 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '23), pp.90-97, 富山県高岡市, 2023 年 10 月. 《優秀プレゼンテーション賞》
- D-65. 小寄泰造, 松田裕貴: “算盤の苦手操作克服のためのゲーム要素を用いた珠算学習支援手法,” 第 31 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '23), pp.267-272, 富山県高岡市, 2023 年 10 月. 《優秀デモンストレーション賞》
- D-66. 福光嘉伸, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “クラウドソーシングを用いたアノテーションにおける不良回答の検出手法,” 研究報告ユビキタスコンピューティングシステム(UBI), Vol.2023-UBI-79, No.18, pp.1-6, 長崎県長崎市, 2023 年 9 月.
- D-67. 筒井翼水, 松田裕貴, 秦恭史, 諏訪博彦, 安本慶一: “災害時におけるインフラレス避難誘導システムの検討,” 研究報告モバイルコンピューティングと新社会システム(MBL), Vol.2023-MBL-108, No.35, pp.1-7, 長崎県長崎市, 2023 年 9 月.
- D-68. 三嶋祐輝, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “3 次元点群を用いたマイクロ行動認識手法の提案,” 研究報告モバイルコンピューティングと新社会システム(MBL), Vol.2023-MBL-108, No.37, pp.1-7, 長崎県長崎市, 2023 年 9 月.
- D-69. 澤野耕平, 松田裕貴, 大内啓樹, 諏訪博彦, 安本慶一: “関心を集め街の事物発見のための位置情報付き写真・テキスト投稿分析手法の検討,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-6, オンライン, 2023 年 9 月.
- D-70. 洲澤春樹, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一, 石丸翔也: “生成 AI を用いたマルチモーダル情報に基づくセルフマネジメントアプリの提案,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-4, オンライン, 2023 年 9 月.
- D-71. 平良繁幸, 松田裕貴, 福光嘉伸, 諏訪博彦, 安本慶一: “会話型インターフェースを用いたオンラインアンケートの回答態度改善手法の検討,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-4, オンライン, 2023 年 9 月.
- D-72. 土橋有理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “高齢者の社会的交流増進を支援する行動変容システムの検討,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-4, オンライン, 2023 年 9 月.

- D-73. 由田翔吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “参加型痕跡センシングと地理情報を用いた害獣出没地域推定手法の提案,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-6, オンライン, 2023 年 9 月. 《学生優秀発表賞》
- D-74. Chouman Hussein, Tomokazu Matsui, Yuki Matsuda, Hirohiko Suwa, Keiichi Yasumoto: “NeedToTalk: An Inverse Social Network For Mental Health Improvement and Well Being,” 2023 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-7, オンライン, 2023 年 9 月.
- D-75. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “比較による劣化状況の把握を目指した Content-based image retrieval の基礎的検討,” 2023 年度日本建築学会大会学術講演会(情報システム技術部門), No.11142, pp.283-284, 京都府京都市, 2023 年 9 月.
- D-76. 澤野耕平, 松田裕貴, 大内啓樹, 諏訪博彦, 安本慶一: “関心を集める街の事物発見のための位置情報付き写真・テキスト投稿分析手法の検討,” NLP 若手の会(YANS)第 18 回シンポジウム, 東京都台東区, 2023 年 8 月.
- D-77. 辻本陵, 大内啓樹, 澤野耕平, 松田裕貴, 諏訪博彦, 渡辺太郎: “衛星画像に基づいた災害被害の説明生成,” NLP 若手の会(YANS)第 18 回シンポジウム, 東京都台東区, 2023 年 8 月.
- D-78. 松田裕貴, 松田裕貴: “珠算学習支援のための盤面認識に基づくリアルタイム情報提示手法,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2023)シンポジウム論文集, pp.63-67, 富山県富山市, 2023 年 7 月. 《野口賞(デモ賞)》《優秀プレゼンテーション賞》
- D-79. 小寄泰造, 松田裕貴: “算盤学習支援システムのための深度カメラを用いた珠操作の認識,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2023)シンポジウム論文集, pp.57-62, 富山県富山市, 2023 年 7 月.
- D-80. 田中智基, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “世帯構成員の集合を考慮した避難所決定手法の検討,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2023)シンポジウム論文集, pp.941-948, 富山県富山市, 2023 年 7 月.
- D-81. 立花巧樹, 吳健朗, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ポイ捨てごみ情報収集システムにおける参加モチベーション向上に向けた音フィードバックの比較,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2023)シンポジウム論文集, pp.1304-1309, 富山県富山市, 2023 年 7 月. 《ヤングリサーチャ賞》
- D-82. 小林永実, 松田裕貴, 渡邊拓貴, 安本慶一: “VR 空間の単純な視覚刺激が及ぼす体感音量への影響調査,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2023)シンポジウム論文集, pp.1501-1505, 富山県富山市, 2023 年 7 月.
- D-83. 松田裕貴: “書画カメラを用いた珠算行動センシング,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), Vol.123, No.31, pp.70-75, 沖縄県国頭郡, 2023 年 5 月.
- D-84. 大内啓樹, 進藤裕之, 若宮翔子, 松田裕貴, 井之上直也, 東山翔平, 中村哲, 渡辺太郎: “地球の歩き方旅行記データセット,” 言語処理学会第 29 回年次大会(NLP '23), B12-1, pp.2920-2924, 沖縄県宜野湾市, 2023 年 3 月.
- D-85. 上田健太郎, 松田裕貴, 伊勢田冰琴, 立花巧樹, 吳健朗, 須田哲生, 古野雅人, 諏訪博彦: “BLE 受信状況を用いた混雑度推定手法のオフィスのオープンスペースへの適用,” 第 46 回社会における AI 研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ウィーク(WSSIT '23), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2023 年 3 月. 《研究会優秀賞》
- D-86. 後藤逸兵, 上田健太郎, 佐瀬凌太, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLE を用いたバスのリアルタイム乗車人数推定手法の提案と評価,” 第 46 回社会における AI 研究会(SIG-SAI) / 社会システムと情報技術研究ウィーク(WSSIT '23), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2023 年 3 月.
- D-87. 木俣雄太, 鳥羽望海, 真弓大輝, 松田裕貴, 榊原太一, 松田裕貴: “テレビ CM がネット検索行動に与える影響の調査システムの開発,” 社会情報学会関西支部研究会(SSI) / 社会システムと情報技術研究ウィーク(WSSIT '23), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2023 年 3 月.

- D-88. 真弓大輝, 中村優吾, 松田裕貴, 三崎慎也, 安本慶一: “Kaolid: 飲料の味変化のための口中香を実現する蓋型嗅覚デバイスの設計と基礎評価,” IoT 行動変容学研究グループ第3回研究会(BTI3), pp.1-8, 福岡県福岡市, 2023年3月. 《最優秀発表賞》
- D-89. 道浦菜々子, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ユーザ嗜好と血糖値を考慮した高血糖抑制支援システムの実現と評価,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMI), Vol.122, No.390, pp.31-36, 愛知県名古屋市, 2023年3月. 《優秀発表賞》《若手研究奨励賞》
- D-90. 松田裕貴, 楠原太一, 真弓大輝, 松田裕貴, 安本慶一: “テレビ視聴行動を再現するエージェントシミュレータの構築に向けた基礎分析,” 第15回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM '23), pp.1-6, オンライン, 2023年3月.
- D-91. 河中昌樹, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “車載動画キュレーションのための観光地らしさ推定モデルの構築,” 第29回社会情報システム学シンポジウム(ISS29), pp.1-7, 沖縄県石垣市, 2023年1月.
- D-92. 近藤亮介, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “伸縮センサを用いた呼吸センシングによる水泳パフォーマンス解析システムの提案,” ポスター, IoT 行動変容学研究グループ第2回研究会(BTI2), pp.71-74, 奈良県奈良市, 2022年11月.
- D-93. 真弓大輝, 中村優吾, 松田裕貴, 三崎慎也, 安本慶一: “鼻腔経路の異なる香りを提示可能なデバイスの設計と味覚に与える影響の基礎評価,” デモ, 第30回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2022), pp.175-180, 鳥取県米子市, 2022年10月. 《優秀デモンストレーション賞》
- D-94. De León A. Sergio, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Concept Design for Inclusive and Engaging Augmented Reality Assisted Disaster Prevention Guidelines,” デモ, 第30回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2022), pp.181-185, 鳥取県米子市, 2022年10月.
- D-95. 河中昌樹, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ドライブレコーダを用いたメモリアル経路動画キュレーションのための“観光地らしさ”の再考,” 第30回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS2022), pp.112-118, 鳥取県米子市, 2022年10月. 《優秀プレゼンテーション賞》
- D-96. 林慶元, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “Detecting and soothing negative emotions through multi-modal sensing and activity suggestions,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-5, オンライン, 2022年9月.
- D-97. 三嶋祐輝, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “3D ポイントクラウドを用いたマイクロ行動認識の検討,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-6, オンライン, 2022年9月. 《支部大会奨励賞》
- D-98. 福光嘉伸, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “マイクロタスク型クラウドソーシングにおける不適切回答のリアルタイム検出・介入手法の検討,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-6, オンライン, 2022年9月. 《支部大会奨励賞》
- D-99. 後藤逸兵, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “痕跡を用いた野生動物の個体識別手法の提案,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-7, オンライン, 2022年9月.
- D-100. 道浦菜々子, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ARとナッジを用いた高血糖抑制のための食事行動変容システムの検討,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-8, オンライン, 2022年9月. 《支部大会奨励賞》
- D-101. 阪上遙, 山田理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “混雑センシングと人流シミュレーションを組み合わせた人流のデジタルツインの提案,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-7, オンライン, 2022年9月. 《支部大会奨励賞》
- D-102. 伊勢田氷琴, 西島伶井斗, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “宅内行動認識に向けた環境発電によるセンシングおよび機械学習手法の提案,” 2022年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-8, オンライン, 2022年9月. 《支部大会奨励賞》

- D-103. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “室内空間における損傷検出のための変化領域抽出法に関する基礎的研究,” 2022 年度日本建築学会大会学術講演会(構造 I 部門), No.20474, pp.1007-1008, 北海道札幌市, 2022 年 9 月.
- D-104. 立花巧樹, 松田裕貴, 磯部海斗, 真弓大輝, 諏訪博彦, 安本慶一, 村尾和哉: “アクティブ音響センシングによるポイ捨てゴミの種別認識手法の提案,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2022)シンポジウム論文集, pp.258-264, オンライン, 2022 年 7 月.
- D-105. 真弓大輝, 中村優吾, 三崎慎也, 松田裕貴, 安本慶一: “Aromug: 糖分摂取量低減を補助するスマートマグカップの設計と基礎評価,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2022)シンポジウム論文集, pp.981-988, オンライン, 2022 年 7 月. 《最優秀論文賞》《最優秀プレゼンテーション賞》
- D-106. 渡邊拓貴, 松田裕貴: “視覚情報が音声情報提示の主観的音量に与える影響の調査,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2022)シンポジウム論文集, pp.1318-1322, オンライン, 2022 年 7 月. 《優秀論文賞》
- D-107. 諏訪博彦, 松田裕貴, 安本慶一: “BLE を用いた濃厚接触判定アプリによるデータ収集実験と評価,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2022)シンポジウム論文集, pp.133-139, オンライン, 2022 年 7 月.
- D-108. 荒川豊, 中村優吾, 松田裕貴: “実生活中の継続的な生体センシングの難しさ,” 人工知能学会全国大会(第 36 回), pp.1-4, 京都府京都市, 2022 年 6 月.
- D-109. 松田裕貴, 田谷瑛悟, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLECE: BLE を用いた公共施設・飲食店の混雑度推定手法,” 電子情報通信学会技術研究報告, センサネットワークとモバイルインテリジェンス研究会(SeMi), Vol.122, No.46, pp.40-45, 沖縄県中頭郡, 2022 年 5 月. 《優秀発表賞》《若手研究奨励賞》
- D-110. 真弓大輝, 中村優吾, 松田裕貴, 安本慶一: “Aromug: 糖分摂取量低減を補助するスマートマグカップの検討,” 情報処理学会 IoT 行動変容学研究グループ キックオフシンポジウム, pp.1-4, 東京都渋谷区, 2022 年 4 月. 《実用化期待賞》
- D-111. 真弓大輝, 中村優吾, 松田裕貴, 松井智一, 三崎慎也, 安本慶一, 野原潤子: “香りナッジが実店舗の購買行動に及ぼす影響の調査,” 第 15 回行動変容と社会システム研究会(BCSS)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), Vol.8, pp.1-6, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.
- D-112. 吉川莉央, 松田裕貴, 大山航平, 諏訪博彦, 安本慶一: “参加型センシングにおける不良回答の誘因調査 — 実環境データに基づく分析,” 第 15 回行動変容と社会システム研究会(BCSS)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), Vol.8, pp.1-8, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.
- D-113. 中岡黎, 大井一輝, 尾崎麻希, 三崎慎也, 中村優吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 真野智生, 城戸顕, 安本慶一: “リハビリ患者の巧緻性の客観的評価に向けた箸型センサを用いた巧緻動作認識手法の検討,” 第 39 回社会における AI 研究会(SIG-SAI)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.
- D-114. 松井智一, 木俣雄太, 三崎慎也, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “サイバーフィジカル空間共有システムにおけるプライバシーフィルタリング機構の検討,” 第 206 回知能システム研究会(SIG-ICS)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), Vol.2022-ICS-206, No.3, pp.1-7, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.
- D-115. Sergio De León Aguilar, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Survey Study on Factors in Civil Defense Participation,” 第 206 回知能システム研究会(SIG-ICS)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), Vol.2022-ICS-206, No.12, pp.1-7, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.
- D-116. 田谷瑛悟, 金光勇慈, 立花巧樹, 中村優吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “BLE 信号を用いた電車車両における混雑度推定手法の検討,” 電子情報通信学会技術研究報告(AI2021-30)/ 社会システムと情報技術研究ワーキング(WSSIT '22), Vol.121, No.439, pp.25-30, 北海道虻田郡, 2022 年 3 月.

- D-117. 松田裕貴, 柳原太一, 木俣雄太, 鳥羽望海, 真弓大輝, 松田裕貴, 安本慶一: “テレビ視聴における非特定視聴履歴データとインターネット検索データの関係性分析,” 第 14 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM '22), pp.1-6, オンライン, 2022 年 3 月.
- D-118. 立花巧樹, 中岡黎, 宮地篤士, 富田周作, 松田裕貴, 中村優吾, 謙訪博彦: “カメラ装着型トングを用いたポイ捨てごみの種別認識手法の提案と評価,” 第 28 回社会情報システム学シンポジウム(ISS28), pp.1-6, オンライン, 2022 年 1 月. 《優秀発表賞》
- D-119. 野原潤子, 真弓大輝, 松田裕貴, 中村優吾, 楠登百, 岩田恵美子: “大和の伝統野菜「大和丸なす」の購買行動に繋げる効果的なおいしさの伝達方法の検討,” ポスター, 第 20 回日本栄養改善学会近畿支部会学術総会, 2021 年 12 月.
- D-120. 天野辰哉, 水本旭洋, 山口弘純, 松田裕貴, 藤本まなど, 謙訪博彦, 安本慶一, 中村優吾, 田上敦士: “新生活様式におけるコミュニティ形成のためのサイバーフィジカル空間共有基盤の設計開発,” 第 29 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ論文集(DPSWS '21), pp.129-138, 鹿児島県霧島市, 2021 年 10 月. 《優秀論文賞》
- D-121. 山田理, 松田裕貴, 謙訪博彦, 安本慶一: “PoI 別時系列混雑度情報用いたメッシュにおける混雑度予測の検証,” 第 29 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ論文集(DPSWS '21), pp.41-49, 鹿児島県霧島市, 2021 年 10 月.
- D-122. 中岡黎, 中村優吾, 松田裕貴, 三崎慎也, 安本慶一: “メシクエ:ご飯を食べて敵を倒す食育ゲームの提案,” 第 29 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ論文集(DPSWS '21, デモ), pp.197-198, 鹿児島県霧島市, 2021 年 10 月.
- D-123. 立花巧樹, 中岡黎, 宮地篤士, 富田周作, 松田裕貴, 中村優吾, 謙訪博彦: “センサ装着型トングを用いたポイ捨てごみの種別・位置情報収集システムの提案,” 第 29 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ論文集(DPSWS '21, デモ), pp.199-202, 鹿児島県霧島市, 2021 年 10 月.
- D-124. 竹山旭, 上田啓太, 川口珠里, 片山洋平, 松井智一, 松田裕貴, 謙訪博彦, 安本慶一: “スマートフォンアプリを利用した口腔内撮影の自動化 AI とその実力,” 第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会(ポスター), p.140, オンライン, 2021 年 10 月.
- D-125. 真弓大輝, 松井智一, 中村優吾, 松田裕貴, 安本慶一: “嗅覚に作用するナッジを用いた購買行動変容システムの検討,” 2021 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-7, オンライン, 2021 年 9 月.
- D-126. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “3 次元前処理を用いない深層学習モデルを用いた室内空間の損傷検知に関する基礎的研究,” 2021 年度日本建築学会大会学術講演会(シェル・空間構造部門), No.20455, pp.959-960, 2021 年 9 月.
- D-127. 松田裕貴, 中村優吾, 謙訪博彦, 安本慶一: “人の知覚の集合知による参加型 IoT センサ調整プラットフォームの設計,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.591-599, オンライン, 2021 年 6-7 月.
- D-128. 金光勇慈, 田谷瑛悟, 立花巧樹, 中村優吾, 松田裕貴, 謙訪博彦, 安本慶一: “BLE を用いた路線バスの混雑度推定,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.62-69, オンライン, 2021 年 6-7 月. 《優秀発表賞》
- D-129. 大井一輝, 中村優吾, 松田裕貴, 藤本まなど, 安本慶一: “IMU センサを用いた棒体操トラッキングシステムの検討,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.1520-1526, オンライン, 2021 年 6-7 月.
- D-130. 大山航平, 松田裕貴, 中村優吾, 謙訪博彦, 安本慶一: “参加型センシングにおける不良回答を抑制する立場表明手法の提案と評価,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.1013-1018, オンライン, 2021 年 6-7 月.
- D-131. 謙訪博彦, 松田裕貴, 安本慶一: “BLE を用いた接触判定アプリによるデータ収集実験の検討,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.600-606, オンライン, 2021 年 6-7 月.

- D-132. 立花巧樹, 中村優吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “スマートウォッチの音響センサを用いたポイ捨てごみの種別認識手法の提案と評価,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.325-332, オンライン, 2021年6-7月. 《ヤングリサーチャ賞》
- D-133. 田谷瑛悟, 平野陽大, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “交通機関利用時の心理状態を考慮した三密を回避するための交通経路推薦手法の検討,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.1180-1187, オンライン, 2021年6-7月.
- D-134. 林涼弥, 松田裕貴, 平野陽大, 藤本 まなど, 諏訪博彦, 安本慶一: “観光客の感情・満足度推定のための簡易なデータ収集システムの提案,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.1006-1012, オンライン, 2021年6-7月.
- D-135. 山田理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “周辺エリアのPoI別時系列混雑情報を用いたmessuの混雑予測,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.54-61, オンライン, 2021年6-7月. 《優秀論文賞》
- D-136. 吉川莉央, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “環境要因は参加型センシングの回答信頼性を低下させるか? —スマートフォンログに基づく分析—,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2021)シンポジウム論文集, pp.1019-1026, オンライン, 2021年6-7月.
- D-137. 後上正樹, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オンラインアンケート回答時のスマートフォン画面操作状況に基づく不適切回答検出,” 情報処理学会インタラクション 2021, pp.11-20, 東京都千代田区, 2021年3月.
- D-138. 中岡黎, 中村優吾, 松田裕貴, 三崎慎也, 安本慶一: “eat2pic: 食事と描画の相互作用を用いた健康的な食生活を促すナッジシステム,” 情報処理学会インタラクション 2021, pp.93-102, 東京都千代田区, 2021年3月. 《論文賞》
- D-139. 林涼弥, 松田裕貴, 藤本 まなど, 諏訪博彦, 安本慶一: “天気情報に着目したマルチモーダルな観光客の満足度推定と特徴量の重要度分析,” 社会情報学会関西支部研究会(SSI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(RST '21), pp.1-7, 北海道虻田郡, 2021年03月.
- D-140. 片山洋平, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一, 上田啓太, 竹山旭: “遠隔歯科診療に向けた自撮り口腔内写真の利用可否判定手法,” 社会情報学会関西支部研究会(SSI) / 社会システムと情報技術研究ワーク(RST '21), pp.1-6, 北海道虻田郡, 2021年03月.
- D-141. 磯田祥吾, 日高真人, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “訪問適時性および期待満足度を考慮したオンサイト観光意思決定支援システムISO-Tourの評価,” 第13回行動変容と社会システム研究会(BCSS) / 社会システムと情報技術研究ワーク(RST '21), pp.1-8, 北海道虻田郡, 2021年03月.
- D-142. 後上正樹, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オンラインアンケートにおける不適切回答自動検出に向けた回答操作ログ分析,” 第13回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム(DEIM '21), pp.1-7, オンライン, 2021年3月. 《学生プレゼンテーション賞》
- D-143. 松田裕貴, 河中祥吾: “Webブラウザ上で動作する市民参加型写真収集アプリの開発と運用,” 第27回社会情報システム学シンポジウム(ISS27), pp.1-5, オンライン, 2021年1月.
- D-144. 福田修之, 松田裕貴, 吉川浩: “LPWAを用いたエナジーハーベストなニホンミツバチの巣箱センシングシステムの開発,” 第27回社会情報システム学シンポジウム(ISS27), pp.1-7, オンライン, 2021年1月.
- D-145. 中村哲, 諏訪博彦, 須藤克仁, Sakti Sakriani, 田中宏季, 吉野幸一郎, 藤本 まなど, 松田裕貴, 安本慶一: “理研AIPにおける人流データ解析と行動変容,” 観光情報学会第21回研究発表会, pp.57-60, オンライン, 2020年12月.
- D-146. 松田裕貴: “人の知覚を用いたIoTセンサの参加型調整手法の検討,” Ubiquitous Wearable Workshop 2020, 1 page, 兵庫県神戸市, 2020年12月.
- D-147. 大山航平, 松田裕貴, 中村優吾, 諏訪博彦, 安本慶一: “参加型センシングにおける立場表明を利用した不良回答抑制手法の提案,” Ubiquitous Wearable Workshop 2020, 1 page, 兵庫県神戸市,

2020 年 12 月.

- D-148. 松田明大, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “エッジデバイスによるリアルタイム路上駐停車判定・可視化システム,” 第 18 回 ITS シンポジウム 2020, 愛媛県松山市, 2020 年 12 月. 《**ベストポスター賞**》
- D-149. 林涼弥, 松田裕貴, 藤本まなど, 諏訪博彦, 安本慶一: “天気を考慮した観光中の感情状態推定手法の検討,” 情報処理学会研究報告, Vol.2020-MBL-97, No.14, pp.1-6, オンライン, 2020 年 11 月.
- D-150. 福田修之, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “健常者のうつ兆候検知に向けた睡眠状況と労働衛生指標の統計分析,” 情報処理学会研究報告, Vol.2020-MBL-97, No.11, pp.1-8, オンライン, 2020 年 11 月. 《**優秀発表賞**》
- D-151. 金光勇慈, 立花巧樹, 松田裕貴, 中村優吾, 諏訪博彦, 安本慶一: “ナッジを用いたコロナウイルス接触確認アプリのインストール促進,” 第 39 回社会における AI 研究会, pp.1-6, オンライン, 2020 年 11 月.
- D-152. 吉江智秀, 松田裕貴, 荒川豊, 大坪治喜, 荒賀崇, 辰野健太郎, 高石智, 臼杵乃理子, 植田敏浩: “アイトラッカーによる注視点分析を用いた血管内治療の教育,” 第 36 回日本脳神経血管内治療学会学術総会(JSNET '20), オンライン, 2020 年 11 月.
- D-153. 福田 修之, 松井 智一, Choi Hyuckjin, 松田裕貴, 安本慶一: “釣果情報共有を目的とした釣竿の振動データに基づく魚種判別手法,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.19-26, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月. 《**最優秀プレゼンテーション賞**》
- D-154. 磯田祥吾, 日高真人, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “訪問時間の適時性を考慮したオンライン観光スポット推薦手法 ISO-Tour の改良と評価,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.146-153, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月. 《**優秀プレゼンテーション賞**》
- D-155. Eunice Likotiko, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “Smart garbage bin: Garbage growth behavior prediction,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.27-33, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月.
- D-156. 福田修之, 玉置理沙, 松井智一, 大井一輝, Choi Hyuckjin, 松田裕貴, 安本慶一: “リアルタイム行動認識機能を有する釣り CPS の開発,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.172-179, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月. 《**優秀デモンストレーション賞**》
- D-157. 松田明大, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “エッジデバイスによるリアルタイム路上駐停車判定システム,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.180-185, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月.
- D-158. 片山洋平, 松井智一, 佐藤佑磨, 中岡黎, Chang Xin, Dang Chenyu, 松田裕貴, 安本慶一: “口腔内画像撮影支援システムの提案,” 第 28 回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS '20), pp.253-256, 静岡県伊東市, 2020 年 11 月. 《**優秀ポスター賞**》
- D-159. 大井一輝, 中村優吾, 松田裕貴, 藤本まなど, 安本慶一: “スマート棒を用いた棒体操支援システムの検討,” 2020 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-5, オンライン, 2020 年 9 月.
- D-160. 立花巧樹, 中村優吾, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “スマートウォッチを用いたポイ捨てごみの種別・位置認識システムの提案,” 2020 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-5, オンライン, 2020 年 9 月. 《**学生優秀発表賞**》
- D-161. 田谷瑛悟, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “交通機関利用における接触を回避するための経路推薦手法の検討,” 2020 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-4, オンライン, 2020 年 9 月.
- D-162. 山田 理, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “メッシュごとの POI 別人数データを用いた人流予測の提案,” 2020 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-4, オンライン, 2020 年 9 月. 《**学生優秀発表賞**》
- D-163. 幸田雄太, 川口健一, 水本旭洋, 松田裕貴: “非構造材の点検を目的として撮影された写真の差分分析による損傷検知に関する基礎的研究,” 2020 年日本建築学会大会学術講演会(構造 I), No.

20503, オンライン, 2020 年 9 月.

- D-164. 磯田祥吾, 日高真人, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “観光ナビにおいて必見スポットをよりよい時間帯に訪問可能にするオンラインプランニング手法,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2020)シンポジウム論文集, pp.1487-1498, オンライン, 2020 年 6 月. 《優秀論文賞》
- D-165. 松田明大, 松井智一, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ドライブレコーダ動画を用いた路上駐停車判定手法の提案,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2020)シンポジウム論文集, pp.1102-1110, オンライン, 2020 年 6 月. 《最優秀論文賞》《優秀プレゼンテーション賞》
- D-166. 田中智基, 松田裕貴, 藤本まなと, 諏訪博彦, 安本慶一: “被災者行動の不確実性を考慮した災害弱者のための避難所決定手法の提案,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2020)シンポジウム論文集, pp.778-784, オンライン, 2020 年 6 月.
- D-167. 徳原耕亮, Billy Dawton, 荒川豊, 石田繁巳, 曾根田悠介, 松田裕貴: “グループミーティング動画からの発話量抽出手法の検討,” 情報処理学会 第 82 回全国大会講演論文集, pp.311-312, 石川県金沢市, 2020 年 3 月.
- D-168. 曾根田悠介, 中村優吾, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “ミーティング映像からの発話およびマイクロ動作識別手法,” 情報処理学会研究報告, Vol.2020-UBI-65, No.40, pp.1-8, 愛知県名古屋市, 2020 年 3 月.
- D-169. 後上正樹, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オンラインアンケートの回答信頼性検証に向けた回答時画面操作ログ取得システム,” 情報処理学会研究報告, Vol.2020-HCI-186, No.35, pp.1-6, 沖縄県石垣市, 2020 年 1 月.
- D-170. 福田修之, 谷優里, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オフィスワーカの睡眠状況と労働衛生指標の関係性分析,” 情報処理学会研究報告(2019-MBL-93), pp.1-7, 奈良県生駒市, 2019 年 11 月.
- D-171. 福田修之, Hanbit Oh, Seong Eon Hong, Hyuckjin Choi, 松田裕貴, 安本慶一: “釣竿に取り付けた慣性センサを用いた釣人の行動認識,” 令和元年度 海洋理工学会 秋季大会, pp.1-4, 京都府京都市, 2019 年 11 月.
- D-172. 後上正樹, 谷優里, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一: “オンラインアンケートの回答信頼性に影響する指標の調査検討 - アンケート形式とスマートフォン操作状況の観点から -,” 2019 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-5, 大阪府大阪市, 2019 年 9 月.
- D-173. 磯田祥吾, 日高真人, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “観光地コンテキストの変化を考慮した理由付き訪問スポット推薦,” 2019 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-8, 大阪府大阪市, 2019 年 9 月.
- D-174. 松田明大, 松田裕貴, 諏訪博彦, 安本慶一: “ドライブレコーダ動画を用いた路上駐停車の判定,” 2019 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-7, 大阪府大阪市, 2019 年 9 月. 《支部大会奨励賞》
- D-175. 田中智基, 松田裕貴, 藤本まなと, 諏訪博彦, 安本慶一: “被災者の特徴を考慮した避難所決定手法,” 2019 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-5, 大阪府大阪市, 2019 年 9 月.
- D-176. Shuichi Fukuda, Seong Eon Hong, Hanbit Oh, Hyuckjin Choi, Yuki Matsuda, Keiichi Yasumoto: “A proposal for a new method of fish species and size prediction by recognizing fishing vibration pattern using machine learning,” 2019 年度 情報処理学会関西支部 支部大会, pp.1-6, 大阪府大阪市, 2019 年 9 月. 《支部大会奨励賞》
- D-177. 松田裕貴: “博士論文速報:都市環境分析におけるヒューマンインザループセンシングの研究,” 情報処理学会研究報告(2019-MBL-92), pp.1-5, 神奈川県三浦郡, 2019 年 8 月.
- D-178. 松田裕貴, Dmitrii Fedotov, 荒川豊, Wolfgang Minker, 安本慶一: “観光中の仕草に基づく感情・満足度の推定における観光客属性の影響分析,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2019)シンポジウム論文集, pp.785-791, 福島県郡山市, 2019 年 7 月. 《ヤングリサーチャ賞》
- D-179. 谷優里, 松田裕貴, 荒川豊, 井上創造 : “労働衛生に関するアンケートとモバイルセンサデータの

- 統合的・継続的な収集,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2019)シンポジウム論文集, pp.1027-1034, 福島県郡山市, 2019年7月.
- D-180. 張志華, 松田裕貴, 藤本まなど, 荒川豊, 安本慶一：“行動変容タスクを考慮したサービス間連携フレームワークの設計と実装,” マルチメディア, 分散, 協調とモバイル(DICOMO 2019)シンポジウム論文集, pp.1708-1715, 福島県郡山市, 2019年7月.
- D-181. 谷優里, 松田裕貴, 河中祥吾, 大坪敦, 平野陽大, 荒川豊, 安本慶一：“オフィスワーカーの心身と環境センシングのためのアプリケーションの開発と評価,” 情報処理学会研究報告, Vol.2019-MBL-91, No.34, pp.1-7, 鹿児島県奄美市, 2019年5月. 《奨励賞》
- D-182. 徳田博行, 高橋雄太, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一：“辞書検索履歴の自動収集に基づく英単語マイクロラーニング支援手法,” 情報処理学会研究報告, Vol.2019-MBL-90, No.44, pp.1-8, 東京都目黒区, 2019年3月.
- D-183. 高城賢大, 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一：“端末側での適応的通知タイミング制御の実現に向けた通知情報調査システムの構築と調査結果,” 情報処理学会 第60回ユビキタスコンピューティングシステム研究会(2018-UBI-60), pp.1-7, 兵庫県淡路市, 2018年12月.
- D-184. 河中祥吾, 松田裕貴, 謙訪博彦, 藤本まなど, 荒川豊, 安本慶一：“観光客参加型センシングによる観光情報収集におけるゲーミフィケーションの有効性調査,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO 2018), pp.145-151, 福井県あわら市, 2018年7月.
- D-185. 高橋雄太, 松田裕貴, Dmitrii Fedotov, 荒川豊, Wolfgang Minker, 安本慶一：“観光中の内的状態推定に向けた観光客の無意識的しぐさの分析,” 電子情報通信学会技術研究報告, 電子情報通信学会 ヒューマンプローブ研究会(HPB), pp.1-7, 東京都足立区, 2018年2月.
- D-186. 松田裕貴, 河中祥吾, 謙訪博彦, 荒川豊, 安本慶一：“ユーザ参加型センシングの割り込みに対する応答性調査～時空間データとタスク難易度およびユーザ属性による考察～,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO 2017), pp.246-254, 北海道札幌市, 2017年6月. 《最優秀プレゼンテーション賞》
- D-187. 河中祥吾, 松田裕貴, 藤本まなど, 荒川豊, 安本慶一：“スマートフォンで撮影した近接群衆画像からの混雑度推定手法に関する一検討,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO 2017), pp.52-57, 北海道札幌市, 2017年6月.
- D-188. 日高真人, 松田裕貴, 河中祥吾, 中村優吾, 藤本まなど, 荒川豊, 安本慶一：“実時間観光コンテンツ提供に向けた観光情報収集・キュレーションシステムの提案,” 情報処理学会 第68回高度交通システムとスマートコミュニティ研究会(ITS), 北海道函館市, 2017年3月.
- D-189. 松田裕貴, Akpa Akpro Elder Hippocrate, Konan N'djabli Cedric Ange, 中村優吾, 前田直樹, 千住琴音, 荒川豊：“位置情報サービスにおける個人特化型ゲーミフィケーション～スタンプラリーイベントを通じた「慣れ」「飽き」の調査～,” 情報処理学会 第3回行動変容と社会システム研究会(BCSS), 北海道虻田郡, 2017年3月.
- D-190. 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一：“多様なユースケースに対応可能なユーザ参加型モバイルセンシング基盤の実装と評価,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO 2016), pp.1042-1050, 2016年7月. 《優秀論文賞・最優秀プレゼンテーション賞》
- D-191. 松田裕貴, 荒川豊, 安本慶一：“DyPRoS:地域情報発信のための動的フォトロゲイニングシステム,” 電子情報通信学会 HCGシンポジウム 2015, pp.480-485, 富山県富山市, 2015年12月.
- D-192. 中村優吾, 松田裕貴, 荒川周造, 金平卓也, 安本慶一：“GAIFoT:情報流を活用した地域分散型アンビエントインターフェース,” 情報処理学会 第23回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ(DPSWS 2015), pp.264-269, 長崎県雲仙市, 2015年10月. 《ポスター賞》
- D-193. 中村優吾, 松田裕貴, 荒川周造, 金平卓也, 安本慶一：“地域情報流の高次利用を促す地域分散アンビエントインターフェース(GAIFoT)の提案,” 電子情報通信学会 コンピュータシステム研究会(CPSY), pp.15-18, 千葉県千葉市, 2015年10月.

- D-194. 松田裕貴, 新井イスマイル, 荒川豊, 安本慶一: “街灯これくしょん:夜道の明るさをセンシングする参加型アプリケーション,” 電子情報通信学会 ヒューマンプロープ研究会(HPB), pp.9-14, 静岡県熱海市, 2015年6月.
- D-195. 松田裕貴, 岩波慶一朗, 長谷川高志, 石岡匠也, 斎藤直矢, 新井イスマイル: “おなかのげんじつ:ベルト着用をトリガとした自動腹囲測定システムの開発,” 情報処理学会 インタラクション 2015, C55, pp.934-939, 東京都江東区, 2015年3月.
- D-196. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知による街灯照度推定・夜道の安全性判定の実証実験,” 情報処理学会 第45回ユビキタスコンピューティングシステム研究会(2014-UBI-45(49)), pp.1-8, 東京都江東区, 2015年3月.
- D-197. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知によるセンサ入光特性を考慮した夜道の安全性判定システムの構築,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO2014), pp.966-974, 新潟県新発田市, 2014年7月. 《優秀プレゼンテーション賞》
- D-198. 新井イスマイル, 井谷武史, 泉将之, 岩波慶一朗, 竹林瞭, 平嶋洋大, 松田裕貴, 中田季利: “Code for X・オープンデータによるアクティブラーニングの試行,” 情報処理学会 マルチメディア, 分散, 協調とモバイルシンポジウム(DICOMO2014), pp.1532-1538, 新潟県新発田市, 2014年7月.
- D-199. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知による街灯照度安全性判定システムの開発,” 情報処理学会 第37回ユビキタスコンピューティングシステム研究会(2013-UBI-37(52)), pp.1-8, 東京都目黒区, 2013年3月.
- D-200. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知による街灯照度安全性判定システムの開発,” 電気学会関西支部 平成24年度高専卒業研究発表会, pp.3-4, 大阪府大阪市, 2013年3月.
- D-201. 松田裕貴, 新井イスマイル: “スマートフォン搭載照度センサの集合知による歩道属性情報生成システムの開発,” 情報処理学会関西支部 支部大会, E-101, 大阪府大阪市, 2012年9月.